オーケストラ・コンサート情報満載！

37 ORCHESTRAS

日本オーケストラ連盟ニュース
加盟オーケストラ コンサート情報 2020年4月～7月
CONCERTS THROUGHOUT JAPAN

Vol.104
2020年 4～7月

シンポジウム報告

音楽の力による心の復興とその支援体制の構築

Contents

シンポジウム報告
音楽の力による心の復興とその支援体制の構築 …… 2
子どものためのオーケストラ …… 4
文化庁の巡回公演の大切さと課題

北京シンポジウム報告
日本のオーケストラを描く必要性を痛感 …… 5
～中国の“一対一路構想”文化版

楽員交流事業の魅力 …… 6
～東京都交響楽団×シンガポール交響楽団

東南アジアで、現代を生きるオーケストラを見た …… 7
News＆Topics …… 8
リレーエッセイ㊳ …… 9
Concerts throughout Japan …… 10
インフォメーション …… 20

シンポジウム報告

音楽の力による心の復興とその支援体制の構築

～兵庫　仙台　熊本からの報告をもとに～

主催：公益社団法人日本オーケストラ連盟
共催：公益財団法人
　　音楽の力による復興センター・東北
後援：文化庁、兵庫県、仙台市、熊本県
協力：日本財団
2020年2月10日（月）日本財団会議室

わが国、そして世界各地で起こる自然災害は“ごく稀”な事象では無くなりつつある。
今回のシンポジウムでは、神戸、仙台、熊本の震災の経験談と活動報告とともに、
支援体制の構築の必要性とその課題について議論を交わした。

第1部　基調報告

“楽都仙台”を街のアイデンティティーに。
震災時も音楽は市民の心に伝わり、支えとなる

基調講演は、2009年から2017年まで仙台市長を二期8年務めた奥山恵美子氏。東日本大震災の発生当時から復興期に渡って陣頭指揮を執った市長としての視点から仙台市の震災の状況とともに「音楽が復興にとってどんな意味を持つか」をテーマに写真を交え、お話いただいた。

奥山恵美子氏（前仙台市長）

東日本大震災から9年。仙台市では沿岸部の荒浜地区の集落が約7メートルの津波に飲み込まれるなど、市内で犠牲になられた方は900名以上。当時、40万戸以上あった住宅のうち全壊3万戸、大規模半壊が2万5000戸、半壊が7万戸と4軒に1軒が被害世帯であり、ほとんどの市民が被災したと言える状況であったと当時を振り返った。

「住宅再建など復興事業の傍らで、被災された方の心の元気づくりとなる復興支援事業として、音楽、芸術など様々な活動を見守ってきたが、本日、ご登壇されている大澤隆夫さんをはじめとする仙台フィルハーモニー管弦楽団の有志のみなさんが中心となられて誕生した被災地と音楽をつなぐ中間支援組織として誕生した『音楽の力による復興センター・東北』の活動の功績は大きい」と奥山氏。

鎮魂そして被災された方の不安な気持ちに音楽が寄り添う、第1回目の「復興コンサート」は震災からわずか2週間後の3月26日にJR仙台駅の東口にある寺院「見瑞寺」で行われた。東日本大震災後、はじめて被災地で開催されたコンサートであると同時に復興コンサートはその後も絶えることなく開催され、現在860回を超え、約13万人が耳を傾けている。

「この9年の間に変わりゆく環境をはじめ、被災された方の心を推し量ったり、音楽家が置かれている演奏活動に関する課題や市民から今どんな曲が求められているか?という各視点に対し、『音楽の力による復興センター・東北』が中間支援組織として、敏感にアンテナを立て、復興コンサートの在り方を試行錯誤しながら変化させていったことがこの豊富な実施回数とともに、市民へ受け入れられたという、たしかな結果と実績につながったのではないか」と話された。

仙台フィルと地元合唱団による、37日間続いた「マラソンコンサート」の最終日の演奏（2011年5月11日）

震災4日後に大澤氏は鎮魂のコンサート（復興コンサート）の開催の了解を求めに当時市長であった奥山氏を訪ねることができたが、奥山氏は「発災後、首長は様々な状況の把握や決断、近隣市町村の首長との連携、国への説明などなかなか時間を確保できないことが多いと思われる。今後、音楽の力でなんらかの活動をしたい、発災後早いタイミングで活動をしたいと思われる団体・個人は、平常時から自治体や地域団体らとコミュニケーションを深め、非常時の判断・実施責任者を取り決め、何らかのマニュアルや指針などを設けておくことが必要ではないか」と発災後の音楽支援活動を考える人々へ向けて提言した。

第２部　パネルディスカッション

～阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震 その経験から見えてきた音楽・芸術支援の成果と課題～

第２部のパネルディスカッションでは、埼玉県教育長、前文部科学省研究振興局長である小松弥生氏をモデレーターに、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震それぞれの経験談をもとに、音楽の力とその支援体制の在り方、これからを模索した。

小松弥生氏（埼玉県教育長、前文部科学省研究振興局長）

災害の中の支援の形・経験を全国のオーケストラへ継承していくために

パネリストは基調講演に続いて、奥山恵美子氏、阪神淡路大震災の後に創造的復興のシンボルとして作られた劇場「兵庫県芸術文化センター」の副館長 藤村順一氏、東日本大震災発災後、まもなくして、仙台フィルと市民有志で設立した音楽による被災者支援任意団体「音楽の力による復興センター」（現：公益財団法人 音楽の力による復興センター・東北）の代表理事 大澤隆夫氏、そして、2016年熊本地震後、民間の力で立ち上げ、音楽の力で被災者に寄り添って来られた「くまもと音楽復興支援 100 人委員会」代表 坂本一生氏の被災地の音楽・芸術支援事業に関わるお三方を招いた。

それぞれの活動を伺いながら、この知見を今後どのように活かせるのかを考えるとともに、オーケストラという視点から今後どのようなことができるのかを日本オーケストラ連盟専務理事 吉井實行氏を交え、意見交換が行われた。

藤村順一氏からは震災の経済被害総額９兆 9,268 億円から 25 年。兵庫県は今も大きな借金を抱えながらも当時の首長の英断、継続的な芸術・文化支援活動、県民の後押しもあり、“ 世界に開かれ地域に愛される劇場 ” として、ホールとオーケストラのハードとソフト両面を担いながら、普及イベント、地域連携、賑わいづくりを行ってきた成功の秘訣を仕掛け人である行政の立場からお話いただいた。

藤村順一氏（兵庫県芸術文化センター副館長）

「我々は支援という言葉は使わず、音楽や芸術は県民の心のビタミンと思い、今日も取り組んでいる」と語る藤村氏の言葉からも、事業の継続性の意義と芸術の持つ可能性を感じ取ることができた。

続いて、大澤隆夫氏からは中間支援組織としての立場から活動の流れや、岩手・宮城・福島の広域な被災地と支援者をマッチングさせる中間支援組織の仕組みや立ち位置についてお話頂いた。

「熊本の坂本さんもコンサートを開催される前にメールで開催にあたっての留意点などをお尋ねいただいたことがありましたが、そういったご相談にお答えしたり、マッチングさせることだけでなく、沿岸部の石巻地区の統廃合された小中学校の校歌をオーケストラの演奏によりCD 化する活動など、中間支援組織が開かれたプラットフォームとして、誰もが活用できる存在でありたいと考えている」と話された。

大澤隆夫氏（音楽の力による復興センター・東北　代表理事）

坂本一生氏が代表を務める「くまもと音楽復興支援 100 人委員会」では民間支援団体として、仮設住宅などを回る「音楽の炊き出しコンサート」をはじめ、3回の大規模コンサート「熊本地震復興祈念コンサート」を開催。「音楽の炊き出しコンサートの開催にあたり、大澤氏、日本オーケストラ連盟の吉井氏をはじめとする被災地での音楽支援の実績のある団体の助言は手探りでスタートした活動のヒントや支えになった」と当時を振り返った。

お三方のお話を受け、文化庁文化部長時代、被災地に寄り添っていける無形文化のネットワークの確立や保存の必要性を感じ、「文化芸術による復興推進コンソーシアム」の立ち上げに携わった経験を持つモデレーターの小松氏が「行政・民間、運営資金の調達先、ホールやオーケストラ所有の有無など三者三様だが、共通点は平時から街・市民に音楽へ対する下地があること。今回伺ったような色々な手法や事例を日本オーケストラ連盟で集約されることを期待する」と総括した。

地震１年後に熊本の「復活」を祈るコンサートのポスター

坂本一生氏（くまもと音楽復興支援 100 人委員会代表）

最後に吉井實行氏からオーケストラの活動をこれまで以上に各地の市民のみなさまにご理解していただくためにも、社会貢献活動に活かされている「非常時のオーケストラ像」の確立に向け、全国のオーケストラ、音楽に携わる方、自治体の方々が非常時の手引きとなるようなものを作成し、共有・活用していけないかという提言が示され、シンポジウムは幕を閉じた。今後、震災の経験や活動が全国各地で継承されるような非常時の手引きの作成が期待される。

吉井實行氏（公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事）

子どものためのオーケストラ

～文化庁の巡回公演の大切さと課題～

写真提供：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

子供の頃の、素敵な音楽体験、オーケストラを聞いたこと覚えてますか？

オーケストラの楽団員の多くは家庭的にクラシック音楽に囲まれて育った人も多いのですが、一方で小学校・中学校時代の体験の影響でこの道を選んだ人も多くいます。クラブ活動であったり、校内の合唱コンクール、友達と組んだバンドなど様々なケースがあると思います。その中の一つに、学校で、あるいはホールに出かけて行って聴いたオーケストラの演奏会も忘れられないものとしてあるようです。これはプロになった音楽家だけではなく、社会で活躍している多くの皆さんにも同様な経験がある方は多いと思います。クラシックにとどまらず歌が好きな人、バンド組んでいるおじさん、コーラスのママさん、市民オーケストラに参加している人たち、子供の音楽教育に熱心な親御さんたち。複雑な現代社会では尚のこと心を優しく包んでくれる、音楽やその他の芸術の体験はかけがえのないものだと思います。

子ども達にとってそんな大切な機会を国や地方自治体などでは設けています。

文化庁の巡回公演の現在とこれから

文化庁では毎年、全国の小中学校を訪ねて芸術家たちが公演を行う事業を今日まで続けていて、現在は「文化芸術による子供育成総合事業」の中の一事業の「巡回公演」として続けられています。公演はオーケストラをはじめとして、オペラ、合唱、バレエ、演劇、ミュージカル、現代舞踊、歌舞伎・能楽、邦楽、演芸など多くの分野で行われています。「文化芸術による子供育成総合事業」の主旨は、文化庁ホームページに次のように記述されています。

「小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い，優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより，子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り，将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。」

また「巡回公演」については次のように記述されています。

「文化庁が選定した文化芸術団体が，学校の体育館や文化施設でオーケストラ，演劇等の巡回公演を行います。 本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き，鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは，公演の鑑賞や児童・生徒との共演をより効果的なものとすることができます。 普段授業などで使っている体育館が，工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。」

表①　文化庁「巡回公演事業」における学校訪問数と全体予算の変化

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
オーケストラが訪れた学校数	317	267	314	256	261	278	296*
文化芸術による子供育成総合事業予算	4,784	5,102	5,112	5,123	5,223	5,274	5,294

＊令和元年度より小編成のオーケストラによる訪問数62を含む。それまでは小編成は無し。　（百万円）

表①に、近年のオーケストラによる巡回公演で訪れた学校数の変化と「文化芸術による子供育成総合事業」の予算の変化を示します。平成25年度より本事業の全体予算は4,784百万円から令和元年度の5,294（百万円）まで6年間に約5億円の増加となっています。一方、オーケストラによる公演数は年によってバラつきはあるものの平均で280公演程度を維持しています。

令和元年度の実績では北は仙台フィルによる釧路市立共栄小学校から、南は九州交響楽団による沖縄県の豊見城市立伊良波小学校までその派遣先は広く全国を網羅しています。現在文化庁では義務教育の9年間、毎年オーケストラをはじめとする芸術団体が子どもたちに本物の芸術を体験させることを目標としています。重要な事業ととらえる一方、財政的には限界もあり、この目標達成には地方自治体の力、保護者、学校の力も合わせて実現していかなければならないと考えられているようです。予算が限られている中、一方で少子化が進んでいる中、つまり1校当たりの生徒数が減少する中、効率よく事業が実施されていくことが財務的な課題ともなっていて、現在各学校がホールなどに集まり合同で行う合同事業や、学校規模に合わせた小編成のオーケストラなどの派遣など様々な方法も取り入れられています。

注：子供たちにオーケストラを体験してもらう事業は国以外に、各オーケストラのある自治体、あるいは企業などによっても全国で多く開催されています。群馬交響楽団などは映画『ここに泉あり』でも知られているように、交響楽団の存在にとって、その歴史的意味においても欠かせない事業となっています。この点ではオーケストラが存在しない都道府県ではその鑑賞機会が存在する都道府県に比べて極めて少ないものなっていることが予想されます。

日本オーケストラ連盟で調べていること

以上のような、国による事業や都道府県・市町村による事業、保護者の負担による事業のための財源確保のため、および空間と時間を提供する学校を始めとする教育関係者の理解を得るためにその根拠となるものを求められる機会が近年多いのが実情です。

元来「音楽は子供のための情操教育に良い」、「感受性を育てる」など、多くの経験より多くの言葉で表現されてきています。近年では必ずしも望ましいことではありませんが、その効果を誰にでも説得力のある数値的なもので表現することを求められてきています。それは難しいと言って、芸術団体として何もしないでいる訳に行かないと考えて続けている調査が、平成27年より「巡回公演」などの子どもたちのオーケストラ体験の場を借りて、データの収集や、その他の調査を開始継続しているものです。

これまでは保護者、教員の方々などの大人にアンケートをとったものは多くありますが、この調査では、演奏を聴いた子供たちにわかりやすく、答えやすい言葉でアンケートをとることを中心としています。（単純な“面白かった”、“つまらなかった”ではなく）

調査は以下の三点にまとめられています。

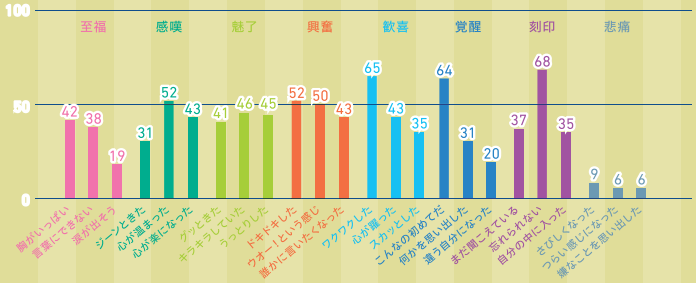
（詳しくは http://www.orchestra.or.jp/library/orchestra-performances-for-children/）

a. オーケストラに触れた子どもたちが感じている心の動き（演奏を聴いた直後）
b. オーケストラと時間を過ごした後の子どもたちの気持ちの変化（演奏の2週間後）
c. オーケストラ体験の驚くべき影響力

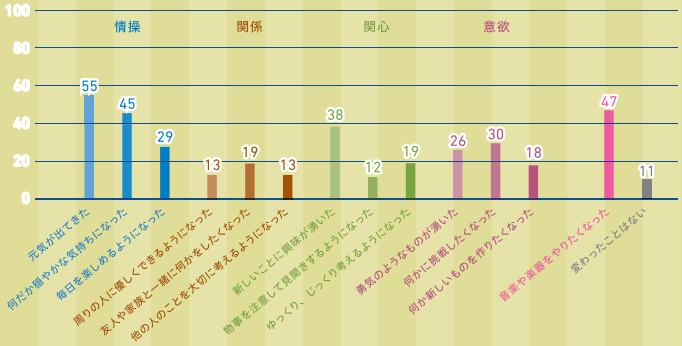
a.bの調査はそれぞれ体験の直後と2週間後に調査した結果ですが、「覚拌（自分が変わった）」を感じたり、上層面でポジティブな変化を感じている子供が多いことがわかります。

c.の調査は本来、子供の時期に「巡回公演」を体験した人を追いかけて、成人になった人から得たいものですが、現状では難しいため、小学生時代にオーケストラを聴いたことある人200人、聴いたことが無い人200人を抽出して行っ

a．オーケストラに触れた子どもたちが感じている心の動き（演奏を聴いた直後）

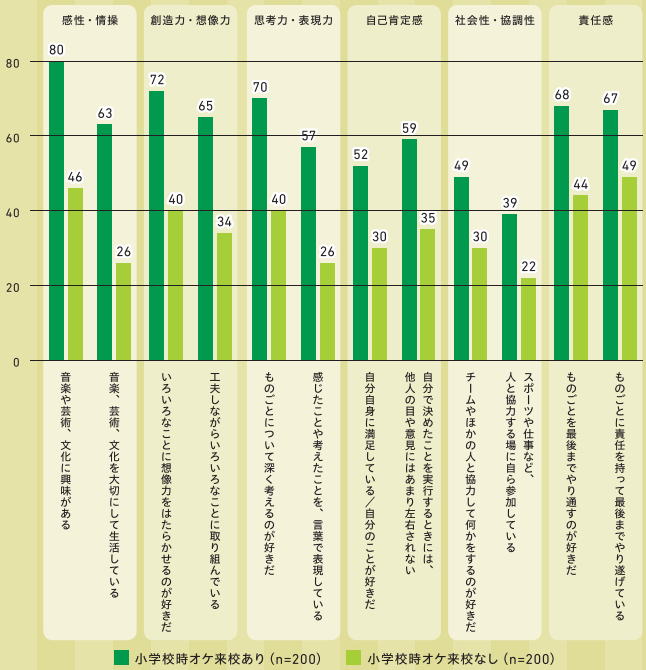


b. オーケストラと時間を過ごした後の子どもたちの気持ちの変化（演奏の２週間後）



c. オーケストラ体験の驚くべき影響力（別の手法による調査）

６つの領域に対する自己評価（「あてはまる」、「ややあてはまる」の回答率の合計値、%）



たアンケート結果です。（対象は 19 歳～ 49 歳）

調査方法などさらに吟味して行く必要はあるものの、子供の頃オーケストラを聴いた人にそれなりの効果が出ていることがうかがわれます。今後はさらに充実した調査を続けていきたいと考えています。

文化芸術はこれからも大切なもの

私たちはオーケストラに限らず、文化芸術が人とその生活を豊かにすることは間違いないと信じてはいるものの、それを決めるのはあくまで受けての人たちです。オーケストラをはじめとする芸術団体は、これからも子どもたちに演奏、芸術文化を届けていくにあたり、子どもたちにはかつてより刺激・情報が多い今日、より充実した力のあるパフォーマンスを伝えることが問われています。

公益社団法人日本オーケストラ連盟

桑原 浩

【北京シンポジウム報告】

世界の中での日本のオーケストラを描く必要性を痛感 ～中国の”一帯一路構想”文化版

西濱秀樹
Hideki Nishihama
日本交响乐团联盟常务理事长
Executive Chairman
Association of the Japanese Symphony Orchestras

基調公演を行う筆者

2019 年 11 月 26 日から 28 日まで北京の国家大劇院（NCPA）で開催された“BEIJING FORUM FOR SYMPHONIC MUSIC2019”に招待され、日本オーケストラ連盟を代表して基調講演などを行った。私自身、台北に続き２度目の国際会議。今回の大きな特色は、台北の参加者が“アジア”だったのに対し、北京は“世界”だったこと。ウィーンフィル、シカゴ響、クリーブランド管、ミュンヘンフィル、イスラエルフィル、ベネズエラ（エル・システマ）、オーストラリアオペラ、シンガポール響、ロイヤルフィル、ルツェルン音楽祭など 21 の団体と中国国内からのゲストを迎えて盛大に行われた。

北京市長、中国滞在中の指揮者ゲルギエフ氏を交えてのセレモニーの後、各基調講演の間に国家大劇院の ZHU JING 副院長と参加者との面会が設定された。その中で、「中国は、世界のクラシック音楽のプラットホームを目指す。その大きな一歩がこのシンポジウムだ」との趣旨説明に続き、「アジアの中での日本の占める役割は大きい。日本もこの構想に参画すべき。」との話を受けた。想像するに、習近平国家主席が掲げる経済構想“一帯一路”の文化芸術版を戦略的に立ち上げることが今会議の目的だったのだろう。もちろん、ここでは明確な返答は避けてきたので、ご安心ください。

私は、基調講演の４番目で登場。“日本における新作への取り組みと都市の活性化”について約 20 分のスピーチを行った。関西フィル、アンサンブル金沢、山響でのコンポーザーインレジデンスを始めとした新作初演への取り組み、広島交響楽団が“国際平和都市”として都市ブランドの確立に文化芸術が貢献していること等を話した。フランス国立管のGMから「日本は凄い。我々は 40 億円の支援を国から受けているが、ここまで新作には取り組めていない。」等の声を頂いた。会場に訪れていた若い人からも質問攻めにあった。スピーチについて、クロージングセレモニーでも唯一話題に挙げられ、中国国営テレビでのニュースでも流して頂いた。日本の存在感は示せたのではないかと思う。

印象的だったのは、デジタル配信への取り組み。medici. tv、classical:NEXT が“世界を市場化する”戦略についてその潮流を示していたこと。「人口減少が進んでも、その10倍のお客様を遠い国で生み出すことが出来る」との話は象徴的だった。彼らからは、「日本からの参加を待っている」とのメッセージを受け取ってきた。

様々なことを考えた３日間だったが、世界へのPRという課題を最も強く感じた。

公益社団法人 日本オーケストラ連盟　専務理事
公益社団法人 山形交響楽協会
専務理事 兼 事務局長

西濱 秀樹

東京都交響楽団×シンガポール交響楽団

楽員交流事業の魅力

東京都交響楽団
ヴィオラ奏者　林 康夫

エスプラネード・コンサートホールにて

© Jack Yam hires

シンガポール響との楽員交流事業

東京都交響楽団（TMSO）は、シンガポール交響楽団（SSO）と日本・シンガポール両国の音楽文化の交流と相互理解を深めることを目的として楽員交流事業を実施しています。

都響とシンガポール響とが相互に楽員の派遣・受け入れをし、それぞれ約1週間にわたりリハーサルや演奏会に参加して交流を図ります。2009年の都響シンガポール公演を契機に始まり、私が参加したのは6回目にあたる2016年の4月（18～24日）で、演奏会形式でのカルメン全曲のコンサートでした。

リハーサルで驚いたこと

4月下旬とは言え、赤道に近いシンガポールですから空港に降り立つと暑さと湿気で頭の中はサウナにいると勘違いしそうになります。翌日からのリハーサルに備え、シンガポールの雰囲気に慣れるためにホテルの周りを日が暮れた夜に散歩しましたが、あっという間に汗だくになりました。

リハーサルは3日間、SSOでの知り合いと言えば、6年前にこの交流事業で都響にやってきたヴィオラのマリエッタさんぐらい、完全アウェイ状態の中で緊張感を漂わせてリハに臨みました。

ヴィオラセクションのメンバーと（右から２人目）

しかし始まってみるとヴィオラセクションの方々は皆さんとてもフレンドリーで、日本語で挨拶をしてくれたメンバーもいて、最初の休憩時にはお土産作戦を実行し、一日目のリハーサル終了時にはすっかり緊張感も取れ一緒に音楽を作っていく感覚になっていました。

リハーサルの中で驚いたのは突然の変更が多かったことです。特に本番が始まって、休憩後に戻るとヴィオラセクションの椅子の位置が違っていたのには戸惑いました。「この方が指揮者を見やすいから」とのスタッフの答え。どんなタイミングでもその方が良いと思ったら変えるようで、メンバーも全く慌てることなく臨機応変に対応していました。オケ全体としても何かアクシデントが起こっても動じない雰囲気があります。

いざ、本番、パワフルなメンバー

© Jack Yam hires

本番はこの事業を経験した都響の楽員がみんな口々に言っていた「リハーサルでは最初まとまらないけど本番に向けて急激に仕上げていくパワフルなオケ」という印象そのままでした。SSOのメンバーは一人ひとりのパワーが強く、それがオーケストラ全体に波及していく。オーケストラの個性の強さを感じました。

国や地域によって音楽の楽しみ方は様々

お客さんも音楽の縦の線が合う美しさよりも音楽の中のパッションを感じたい、エンターテインメントとしての音楽を楽しもうという雰囲気に溢れている感じでした。

音で「素晴らしいもの！」は一つではない、それを実感しました。

この交流事業に参加して音楽面で感じたことは以上ですが、それ以外にも街中で異文化に触れることで得られるエキサイティングな体験や、多くの国籍の楽員がいるシンガポール響で音楽を通して国境や人種を越えて人と人とが理解し合い繋がりができることを経験できたことは、実際に行ってみないとわからない、参加することに意義があるオリンピックと同じようなものにも思えました。

交流が多種多様な価値観を共有できる素晴らしいものになることを夢みて

今回の事業に参加出来たことを都響、シンガポール響の事務局に感謝するとともに、この貴重で大切な事業が今後も継続されることを願っています。この先、都響だけでなく多くの日本のオーケストラが海外のオーケストラとの交流を通して人と人との繋がりを拡げ、社会の縮図とも言われるオーケストラが多種多様な価値観を共有できる素晴らしいものになることを夢に見つつ帰路に着きました。

座談会のメンバーと

11月にシンガポール響から参加していたニコライ・コヴァルさん（ヴァイオリン奏者）と、これまでにこの事業に参加した都響メンバー6名で、この事業についての座談会を開催しました。座談会の模様は都響Webで公開しており、右記QRコードよりご覧いただけます。

東南アジアで、現代を生きるオーケストラを見た

日本センチュリー交響楽団
柿塚 拓真

タイ国立交響楽団スクールコンサート。客席で光るスマートフォンに注目

ミャンマー国立響チェロ奏者にアドバイスする
山本祐ノ介氏

タイ、ミャンマーのオーケストラとの交流

「アジア オーケストラ ウィーク」や「アジア太平洋地域オーケストラサミット」への参加、上海交響楽団との合同演奏会の制作を通じて、アジアのオーケストラのエネルギー、力強さに魅了されていた私にとって、彼らからオーケストラマネジメントを学ぶことは長年の希望だった。同時に西洋の単なる模倣、追従ではなく、どのように独自の個性を確立するのか、自身の文化としてのオーケストラを再構築するのかはアジアのオーケストラ共通の課題であり、それはこの21世紀においては、一部の優れた才能や音楽の専門性のみによって成されるのでなく、一般の人々との対話や交流、またそれらの社会全体から影響されるべきだと考えている。このような背景から今回、私は国際交流基金アジア・フェローシップ・プログラムを申請し、2019年7月から9月までの約2か月間、一定の歴史があり、更なる成長をとげる王立バンコク交響楽団と、本格的な活動が始動したばかりで、手探りで自らの在り方を探る国立ミャンマー交響楽団を訪問し、交流を深めた。

ミャンマー国立交響楽団（MNSO）日本の支援がオケ充実の好循環に

ミャンマー唯一のプロオーケストラであるミャンマー国立交響楽団（MNSO）は2013年に音楽家の山本祐ノ介氏（指揮者、チェロ奏者、作曲家）と共演し、その後、山本氏は音楽監督に就任し同楽団の音楽性と技術の向上に尽力。また同じく小山京子氏（ピアニスト）がミュージック・アドヴァイザーを務めている。特に2014年度から2018年度までの5年間は日本の国際交流基金が助成事業や共催事業として日本オーケストラ連盟と連携し音楽面、技術面の指導の他、オーケストラ運営の基礎となる楽譜の管理、楽器の修繕などを包括的に行った。またODAでの楽器購入や寄付の楽器による提供が日本より行われている。今回の滞在中に山本氏、小山氏による連日のリハーサルに立ち会うことができた。また今回は山本氏、小山氏以外に久一忠之氏（ティンパニ&打楽器奏者）、杉本哲也氏（ライブラリアン）、加藤雅元氏（コーディネーター、オーボエ指導）も指導に加わった。MNSOの演奏技術は正直に申し上げて発展途上中である。しかしリハーサル中に時折、いい響きがしたり、作品の世界が素直に表現されたり、その場にいる全員が同じ音の渦の中にいるような、いい意味でオーケストラらしい瞬間があった。これは山本氏、小山氏が技術指導に留まらず、最初からMNSOの楽団員をプロの音楽家として扱い、音楽的な要求を続け、「音楽創り」に向かい合っているからに他ならないだろう。

オーケストラ都市バンコク社会的な効果を目的とした芸術活動も

バンコクはオーケストラ都市であり西洋音楽の水準も高い。プロのオーケストラだけでも、今回の私の受入先であり日本でもお馴染みの王立バンコク交響楽団（BRSO）や国立マヒドン大学が所有するプロオーケストラ、タイ・フィルハーモニック、さらに文化省直営の国立交響楽団（同じ部署が国立ユースオーケストラも運営）があり、陸海空それぞれの軍、そして警察までオーケストラを持っている。常設でない団体を加えれば数はさらに増える。

音楽大学の教育も高い水準で、参加したプリンセスガイヤーニヴァッタナー音楽院での国際会議では学部生の研究発表含め全て通訳なし、英語だけで進行されていた。またタイでもっとも大きなスラム街クロントイ地域では貧困層の子どもを対象に教会が運営するエマニュエル・オーケストラはじめ複数の社会的な効果を目的とした芸術活動が展開されている。

スラム街・クロントイ地区のエマニュエル・オーケストラ

タイ国立交響楽団スクールコンサート自立したオーケストラ活動が垣間見えた

タイ国立交響楽団（NSOT）のスクールコンサートに参加したときのこと。おおよそ2時間の公演中クラシック作品は全く演奏せず、ロックやポップスを演奏。時に学校の先生が代わる代わるオーケストラをバックに歌い、生徒は踊り狂う。そしてその盛り上がりが最高潮に達した時に照明が落とされ、学生がスマートフォンを使い、ペンライトのように頭の上で振りだしたのである（写真上左）。NSOTは「クラシックを演奏しても学生は興味を持たない。ならばエンターテインメントを追求する」方針。この割り切り、オーケストラを扱う際に、自分たちの文化に合わせることを躊躇せず、過度に神聖化し過ぎない。この姿勢はタイの音楽関係者に共通して感じられたことであり、彼らがオーケストラ音楽を消化し、自分たちの文化として発展させる基本的な感覚だと理解できた。

16世紀のヴェネチアのオーケストラと20世紀のニューヨークと21世紀のバンコクのそれとでは、同じオーケストラでも全く違う。21世紀の日本の、大阪のオーケストラはどれだけ我々の社会を、そこに住む人々の精神を反映しているのだろうか。芸術団体の使命として。*より詳しいレポートは国際交流基金アジアセンターのウェブサイトにて公開予定。

柿塚拓真プロフィール

日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラム担当マネジャー／豊中市立文化芸術センター事業プロデューサー。福岡第一高等学校音楽科・相愛大学音楽学部卒業。社会保険庁福岡社会保険事務局（当時）を経て財団法人大阪府文化振興財団（大阪センチュリー交響楽団事務局、当時）に入局。2013年1月にブリティッシュ・カウンシルが主催するオーケストラ・ホール関係者向け英国派遣プログラムに参加。2014年に楽団内で立ち上げたコミュニティプログラムでは子供、家族、高齢者、障碍者、就労支援中の若者、家屋の解体作業員、作曲家、ダンサー、邦楽・伝統音楽家、ダンスミュージックのキーボーディスト、哲学者、音楽学者など多様な人々とオーケストラとの音楽創りを進めている。

王立バンコク響事務局員とともに

令和２年度文化庁予算が閣議決定

昨年の 12 月 20 日、政府は令和 2 年度の予算を閣議決定した。その中で文化庁予算は令和元年度予算 106,709 百万円と比べて僅か 0.01%、約 5 百万円増の 106,715 百万円となった。令和元年度の予算決定時においては 116,709 百万円であったが国際観光旅客税を財源とするインバウンドのための整備予算が観光庁予算として計上されることになったため、令和元年度、2 年度もこの分の金額約 10,000 百万円が除かれた数字となっている。よって上記に表示した今年度予算の数値はこれまでの従来の文化庁予算と解釈できる。この部分だけに関して言えば昭和 30 年度から令和元年において 1,500 百万円の減額、令和元年から 2 年の間に 0.01%の増ということは従来の文化予算は減少したままの維持と考えることができる。

昨年度より国際観光旅客税を財源とする「日本博」などへの増加した予算約 10,000 百万円の解釈が重要となるが、東京オリンピック・パラリンピックへの当該年である令和 2 年度予算がスポーツだけでない文化のオリンピックでもあると、これまで述べられてきた年の予算として評価できるかどうかは、まさに本年度活動の内容にかかっていると言える。

また注目していきたいのはオリンピック終了後の令和 3 年度以降の予算がどのように変化していくか、国際観光旅客税の予算が観光庁経由であれ、今年度までと比較して維持されていくのか、それらを除いた従来型の文化・芸術の予算が減っていくことは無いのか、注視していく必要がある。

令和 2 年度の文化庁予算案のテーマは「文化芸術の力で未来を切り拓く」と昨年と変化していない。オーケストラの活動に関係のある内容を見ると次の通り。

1.「舞台芸術創造活動活性化事業」

ここ数年、全く増減のない 3,287 百万円と変化のなかったこの予算が、来年度は 3,338 百万円と僅かとは言え増額していることは評価できる。この予算は我が国芸術団体の水準の向上と、より多くの国民に対する優れた舞台芸術機会の提供を図るためのものとして、オーケストラの定期演奏会を中心とする、芸術的価値の高い演奏会に助成しているもの。芸術団体であるオーケストラにとっては極めて意味のある重要な予算である。

内容の特徴としては、これまでオーケストラ、オペラの一部に適用されていた年間支援（公演事業支援でなく）が「複数年支援」という形で、演劇、オペラなどの他分野にも拡充されたこと、評価は高いものの、実績がないために申請できなかった芸術団体のために「ステップアップ支援」の枠ができたことが挙げられる。

2.「文化芸術による子供育成総合事業」

今年度より、36 百万円の増額（概算要求時は 531 百万円の増額要求）。来年度の増額の一因は、新規に計上された「地域文化倶楽部（仮称）の創設に向けた調査研究」の予算 56 百万円にある。これは学校でのクラブ活動などに課題が多い現在、ヨーロッパのような地域を中心とした倶楽部としての活動の可能性を探るためのものである。

従来予算の巡回公演目標は 1,460 公演程度、合同開催事業は 485 公演程度となっている。今年度は巡回公演 1,500 公演程度、合同公演 430 公演程度。限られた予算で、より多くの子供たちに本事業を届けること、少人数学校に大人数の芸術家が訪ねる予算の効果的利用が求められる中、合同開催事業の開催、小規模の演奏家の派遣などの模索は続けられている。国の目標は、義務教育の期間 9 年間に渡って毎年本物の芸術を子供たちのところに届けることにある。

3.「戦略的芸術文化創造推進事業」

昨年度、約 4 億円の大幅減額となった本事業予算は、昨年並みの 606 百万円。一部分は後述する「日本博」の予算に移動したままと見られる。

4. 障害者による文化芸術活動推進事業

約 100 百万円の増額を希望していたが、56 百万円増の 356 百万円にとどまった。なお、この予算に関しては京都の文化庁が担当している。（ここに記述している他の予算はすべて東京の文化庁が対応）

5.「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」

劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業〉、〈共同制作支援事業〉、〈劇場・音楽堂等間ネットワーク事業〉などを含む本事業予算は前年度より約 170 百万円減の 2,431 百万円となった。劇場・音楽堂等に関する法律ができて以来、計上されている本事業予算は年々減額になっている。

6.「日本博」を契機とした文化資源による観光インバウンドの拡充

本事業予算は令和元年度から新たに生まれたものであり、来年度は 100 百万円増の 4,533 百万円の予算がついている。ただし、先に述べたように国際観光旅客税財源予算は今年度より、国としては観光庁の予算として計上されている。

東京オリンピック・パラリンピックを契機に新たに創出された当予算は、その申請などの複雑さなどもあり、申請団体のほとんどは地方自治体、あるいはそれに付随した独立行政法人、実行委員会などがほとんどで、実演芸術家団体は申請しにくいものとなっている。

2020 年度 アフィニス文化財団の助成内容が決定

公益財団法人アフィニス文化財団（理事長 涌井洋治）は日本の音楽文化の発展を願い「アフィニス オーケストラ助成」として、日本国内のプロフェッショナル・オーケストラの主催による演奏会に支援している。この度 2020 年度の助成内容が発表された。

「音楽の担い手としてのプロ・オーケストラが主催するわが国ならびに各楽団の活動の重点を置いている地域にとって意味ある企画」への助成である「アフィニス・エンブレム」には東京交響楽団（指揮：ジョナサン・ノット）によるワーグナーの楽劇「トリスタンとイゾルデ」（4 公演）、NHK 交響楽団（指揮：ケント・ナガノ）によるイェルク・ヴィトマンのオラトリオ「箱舟」の日本初演をはじめとする全 9 団体が選ばれた。合計助成金額 2,500 万円。また、「楽団としての成長、発展を目指して企画される意欲的な企画」への助成である「アフィニス・エチケット」には東京都交響楽団（指揮：山田和樹）による三善 晃の「反戦三部作」の演奏会をはじめとする 14 団体の 22 プログラムが選ばれた。こちらの合計助成金額は 1,100 万円。

また 2020 年度の海外研修員には東京都交響楽団のコントラバス奏者の本山耀佑さんが選ばれた。研修先はドイツ。この制度は日本のオーケストラの楽団員が海外で研鑽を積み、帰国後にその成果を所属楽団にフィードバックすることを目的としている。

今年の大阪4大オーケストラは 生誕 250 年のベートーヴェン特集

今年の大阪国際フェスティバルの名物 “ 大阪 4 大オーケストラの響宴 ” は生誕 250 年を迎えるベートーヴェンを特集する。タイトルは「4 オケの 4 大シンフォニー 2020」。大阪フィルが「英雄」、関西フィルが「運命」、日本センチュリー響が「田園」、最後を大阪響が 7 番で締めくくる。

日時：2020 年 4 月 18 日（土）14 時開演
会場：フェスティバルホール（大阪）
1. 交響曲第 3 番 変ホ長調「英雄」
　指揮：尾高忠明
　管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団
2. 交響曲第 5 番 ハ短調「運命」
　指揮：オーギュスタン・デュメイ
　管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団
3. 交響曲第 6 番 ヘ長調「田園」
　指揮：飯森範親
　管弦楽：日本センチュリー交響楽団
4. 交響曲第 7 番 イ長調
　指揮：外山雄三
　管弦楽：大阪交響楽団

主催：朝日新聞文化財団、朝日新聞社、大阪国際フェスティバル協会、フェスティバルホール、4 つの参加オーケストラ
問い合わせ：フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221

やまぎん県民ホール、オープン

JR 山形駅西口駅前に新たに「やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）」が昨年 12 月 1 日にプレ・オープン、山形交響楽団（指揮：飯森範親）によるベルリオーズの幻想交響曲などが演奏された。グランドオープンは 3 月 1 日。

同ホールは客席数 2,001 席の大ホールのほか、2 つのスタジオを含め他に練習室、会議室を有する。山形交響楽団の事務局も同ホール内に。

表彰・受賞

令和元年秋の叙勲に関西フィルのコンマスのギオルギ・バブアゼさん

関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサート・

マスターを務めるギオルギ・バブアゼさんが旭日単光章を受章した。バブアゼさんはジョージア（旧グルジア）トビリシ出身。1996 年に大阪シンフォニカー（現・大阪交響楽団）のコンサート・マスターとして来日。2001 年より現職。

第 7 回アドルフ・サックス国際コンクールで齊藤健太さんが優勝

ベルギーのディナンで昨年 10 月から 11 月にかけて行われた「第 7 回アドルフ・サックス国際コンクール」で齊藤健太さんが優勝した。また第 2 位には小澤瑠衣さんが入賞した。同コンクールは 1994 年から開催されているサクソフォンのコンクールでは最高峰として知られている。これまでも日本からは多くの奏者が入賞しているが、優勝者は 2002 年の原博巳さん以来二人目。

第 21 回ホテルオークラ音楽賞にヴァイオリンの服部百音さんとピアノの藤田真央さん

第 21 回ホテルオークラ音楽賞にヴァイオリンの服部百音さんとピアノの藤田真央さんが選ばれた。本賞はホテルオークラ東京が 1996 年より社会貢献・芸術文化事業の一環として、将来を嘱望される音楽家の奨励を目的としたもの。服部さんは 1999 年生まれ。6 歳で桐朋学園附属子供のための音楽教室に入室。8 歳でオーケストラと初共演。ボリス・ゴールドシュタイン国際ヴァイオリン・コンクールでのグランプリをはじめとして、数々の国際コンクールで優秀な成績を修めている。これまでに第 27 回新日鐵住金音楽賞<フレッシュアーティスト賞>、第 8 回岩谷時子賞を受賞している。現在、ザハール・ブロン・アカデミーに在籍。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに在学中。

藤田真央さんは、2016 年浜松国際ピアノアカデミーコンクールで第 1 位。2017 年には弱冠 18 歳で、第 27 回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝、その後 2019 年のチャイコフスキー国際コンクールで第 2 位を受賞し、世界中に注目される存在になった。現在、東京音楽大学に在籍中。

第 18 回齋藤秀雄メモリアル基金賞にチェリストの佐藤晴真さん、指揮者の鈴木優人さん

第 18 回（2019 年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞のチェロ部門の受賞者に佐藤晴真さん、指揮部門に鈴木優人さんが選ばれた。賞金は 500 万円。本賞は故斎藤秀雄に因んで、音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される若手チェリスト、指揮者に授与される。佐藤さんは 1998 年名古屋出身、弱冠 21 歳の新進気鋭のチェロ奏者。第 83 回日本音楽コンクールチェロ部門第 1 位。第 13 回ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール、ルトスワフスキ国際チェロコンクールなど多数の受賞歴を誇る。2019 年には日本人としては初めて、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門で優勝した。現在ベルリン在住。

鈴木優人さんは 1981 年オランダ生まれ。東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院終了。第 18 回ホテルオークラ音楽賞受賞。現在、バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者、読売日本交響楽団の指揮者 / クリエイティヴ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督を務める。このほか調布国際音楽祭エグゼクティヴ・プロデューサーを務めるなど、プロデュース、作曲、ピアノ、チェンバロ、オルガン奏者など多方面で活躍している。

チェリストの佐藤晴真さん、指揮者の鈴木優人さん

令和元年度（第74回）文化庁芸術祭大賞にヴァイオリンの郷古 廉さん

令和元年度（第 74 回）文化庁芸術祭賞の音楽部門の大賞に「土と挑発：郷古廉＆加藤洋之デュオリサイタル」（企画・構成：伊藤信宏、10 月 26 日　ザ・フェニックスホール）が選出された。「土と挑発」は演目のヤナーチェク、プーランク、バルトークの3つのソナタが第1次、2次両大戦への反応であることを指している。また同優秀賞に「窪田健志 打楽器リサイタル vol.4」（10 月 17 日豊中市市立芸術センター、11 月 2 日電気文化会館）が選出された。窪田健志さんは名古屋フィルハーモニー交響楽団の首席打楽器奏者。このほかクラシック音楽関係ではレコード部門大賞に「古典四重奏団によるショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全集」、同優秀賞に「米元響子によるイザイの無伴奏ヴァイオリンソナタ全集」が選出された。

リレーエッセイ㊳

大村生まれ長崎育ちのNOCE

長崎OMURA室内合奏団　事務局
牧野ことみ

初めまして。長崎OMURA室内合奏団です。昨年 6 月に準会員として加盟いたしました。長崎出身・在住・ゆかりあるメンバーを中心とし“長崎空港”のある長崎県大村市を拠点に活動しています。「Nagasaki Omura Chamber Ensemble」の頭文字をとった「NOCE（ノーチェ）」の愛称とともに、まずは皆様に覚えていただければ幸いです。新参者ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

長崎県は、離島の数日本一。NOCEも島での演奏機会を多くいただいています。先日も壱岐にて、NOCE の弦楽四重奏と壱岐島内で中学校教員をされているフルーティストが共演するコンサートを行いました。壱岐の皆様は、NOCE の訪問を心から歓迎してくださり、リハ・本番以外の時間には、美味しい海の幸を堪能、壱岐の特産である焼酎の酒蔵や近年話題の神社への観光も楽しみました。もちろん、コンサートへも壱岐島内全世帯へのチラシ配布などご尽力いただき、好評のうちに終演いたしました。

私個人としては、初めての島での公演。初めての壱岐。壱岐の皆様の歓迎のお気持ちや演奏を喜んでいただけていることを肌で感じることができ、とてもよい経験となりました。なかでも、「島で弦楽器の演奏を聴けることが嬉しい！」と口を揃えて仰っていたことがとても印象的でした。ピアノや管楽器（吹奏楽などで）は、島内でも触れる機会があるものの、弦楽器の生演奏に触れる機会はほとんどないそうです。

島の現状を知り、離島の数日本一の長崎にある合奏団として、自治体や地元企業の力をお借りしながら、今後も島の皆様へ生演奏を届ける活動にも力を注いでいかなくては！と実感しました。

長崎の文化の発展のため、地元長崎の合奏団だからこそできることを大切に、また長崎の皆様から「NOCE ってよかよね～♪」と愛していただける合奏団を目指して、益々邁進して参りたいと思います。

プロフィール
1993 年長崎県大村市生まれ。
2016 年より事務局員として勤務。

CONCERTS THROUGHOUT JAPAN

加盟オーケストラ コンサート情報　2020年4月～7月

■ 正会員　■ 準会員

4月 April

3日(金)
新日本フィル ファミリーコンサート
宮川彬良 オケパン
11：00/14：00（トリフォニー）
都響 定期B
19：00（サントリー）

5日(日・祝)
仙台フィル オーケストラと遊んじゃおう！
10：00/13：30（日立システムズホール仙台）
東京シティ・フィル 青島広志の
なるほどザ・クラシック音楽
14：00（オペラシティ）

6日(月)
テレマン 定期
18：30（大阪市中央公会堂）⇨17 p

7日(火)
名フィル 市民会館名曲シリーズ
18：45（フォレストホール）

8日(水)
東京フィル 平日の午後のコンサート
14：00（オペラシティ）
読響 定期
19：00（サントリー）

9日(木)
センチュリー響 定期
19：00（ザ・シンフォニー）⇨17 p

10日(金)
新日本フィル 定期 ルビー
14：00（トリフォニー）⇨12 p
東京フィル 渋谷の午後のコンサート
14：00（オーチャード）
大阪フィル 定期
19：00（フェスティバル）⇨16 p

11日(土)
札響 名曲「ド・レ・ミ・ファおもちゃ箱」
14：00（Kitara）
山響 定期
19：00（山形テルサ）
N響 定期 Aプロ
18：00（NHK）⇨11 p
新日本フィル 定期 ルビー
14：00（トリフォニー）⇨12 p
東京シティ・フィル 定期
14：00（オペラシティ）⇨12 p
神奈川フィル 定期
14：00（みなとみらい）⇨14 p
OEK ファンタスティック
14：00（石川県立音楽堂）
大阪フィル 定期
15：00（フェスティバル）⇨16 p
九響 名曲・午後のオーケストラ
14：00（福岡シンフォニー）

12日(日)
山響 定期
15：00（山形テルサ）
N響 定期 Aプロ
15：00（NHK）⇨11 p
東響 こども定期
11：00（サントリー）
東京フィル 定期
15：00（オーチャード）⇨13 p
京響 スプリング・コンサート
14：00（京都コンサート）

14日(火)
東京フィル 定期
19：00（オペラシティ）⇨13 p

札幌交響楽団

問合せ　011-520-1771

定期演奏会［会場：札幌コンサートホールKitara］

第628回 4月24日(金) 19時 ／ 25日(土) 14時
【指揮】マティアス・バーメルト（首席指揮者）【ピアノ】デジュー・ラーンキ
【曲目】バルトーク／ピアノ協奏曲第3番　R＝コルサコフ／「シェエラザード」ほか

第629回 5月15日(金) 19時 ／ 16日(土) 14時
【指揮】オッコ・カム【ヴァイオリン】神尾真由子
【曲目】シベリウス／ヴァイオリン協奏曲、4つの伝説曲　ほか

［1回券］S7,000円　S6,000円　A5,000円　B4,500円　C3,500円　*U25割B,C（1995年以降生まれ）1,500円　［当日販売限定］　スマイル自由席 2,000円
［定期会員（年度内8公演）］S42,000円～C席21,000円　U25割9,000円

hitaruシリーズ新・定期演奏会［会場：札幌文化芸術劇場hitaru］

第1回 5月28日(木) 19時
【指揮】秋山和慶【ピアノ】藤田真央
【曲目】近衛秀麿／越天楽　ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番　ブラームス／交響曲第1番

［1回券］S6,000円　A5,000円　B3,500円　*U25割A（1995年以降生まれ）1,500円
［当日販売限定］　スマイル席 2,000円
［4回通し券（年度内4公演）］S19,200円　A16,000円　U25割A 5,000円

詳細は、公式ホームページでご覧ください　https://www.sso.or.jp

仙台フィルハーモニー管弦楽団

問合せ　022-225-3934

定期演奏会　会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール

［全席指定］S席：¥5,100　A席：¥4,600　Z席：¥2,000　S席ユース：¥2,000　A席ユース：¥1,500　※ユース：演奏会当日25歳未満の方が対象

第336回
5月15日(金) 19時開演 ／ 16日(土) 15時開演
指揮：飯守泰次郎
チェロ：
ウェン＝シン・ヤン
ドヴォルザーク：
チェロ協奏曲
ベートーヴェン：
交響曲第7番

第337回
6月5日(金) 19時開演 ／ 6日(土) 15時開演
指揮・ピアノ：野平一郎
ヴァイオリン：神谷未穂
チェロ：三宅 進　フルート：戸田 敦
クラリネット：ダビット・ヤンシスキー
ホルン：須田一之
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番
野平一郎：
静岡トリロジーⅡ「終わりなき旅」
モーツァルト：交響曲第38番「プラハ」

第338回
7月24日(金・祝) 15時開演 ／ 25日(土) 15時開演
指揮：ヤデル・ビニャミーニ
ピアノ：津田裕也
ロッシーニ：
歌劇「セミラーミデ」序曲
ベートーヴェン：
ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
チャイコフスキー：イタリア奇想曲
レスピーギ：交響詩「ローマの松」

特別演奏会
高関健プロデュース　**「日本のオーケストラ音楽」展**　日立システムズホール仙台・コンサートホール

5月23日(土) 15時開演
指揮：高関 健
合唱：NHK 仙台少年少女合唱隊
武満徹：鳥は星形の庭に降りる
間宮芳生：児童合唱とオーケストラのためのコンポジション 子供の領分
三善晃：交響三章
［全席自由］一般：¥3,500　ユース：¥1,500

お申込み・お問合せ：仙台フィルサービス　https://www.sendaiphil.jp/

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

問合せ　03-3766-0876

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
第39回定期演奏会
大田区民ホールアプリコ 大ホール
2020年11月3日(火)　開演14：00（開場13：30）

ベートーヴェン祝生誕250年
曲目　ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調作品102
ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調作品125

＜チケット＞S席 7,000円（Sペア席 13,000円）　A席 5,000円　B席 3,000円　C席 2,000円／アカデミー席（学生割引）　B席1,500円　C席1,000円
指揮：松岡究（常任指揮者）／ヴァイオリン：印田千裕／チェロ：印田陽介／ソプラノ：坂口裕子／アルト：阪口直子／テノール：澤崎一了／バリトン：青山貴
合唱：成城合唱団　（問）ユニフィル事務局　Tel. 03-3766-0876　Mail. info@uniphil.gr.jp　http://www.uniphil.gr.jp

山形交響楽団

問合せ　023-616-6606

さくらんぼコンサート2020

大阪公演

6月20日(土) 14:00
ザ・シンフォニーホール

【指揮】阪 哲朗
【ピアノ】ペーター・ヤブロンスキー
ムソルグスキー／
交響詩「はげ山の一夜」
(リムスキー＝コルサコフ編)
ラヴェル／ピアノ協奏曲
リムスキー＝コルサコフ／
シェエラザード作品 35

東京公演

6月21日(日) 14:00
東京オペラシティ コンサートホール

【指揮】飯森範親
【ピアノ】ペーター・ヤブロンスキー
ベートーヴェン／
ピアノ協奏曲第５番変ホ長調「皇帝」作品 73
バルトーク／
管弦楽のための協奏曲

指揮 阪 哲朗 © Kazuhiko Suzuki

指揮 飯森範親 ©山岸伸

ピアノ ペーター・ヤブロンスキー © Peter Jablonsk

(お問合せ・お申し込み) 山響チケットサービス TEL：023-616-6607 (月～金 ※祝日を除く10:00～17:00)

群馬交響楽団

問合せ　027-322-4316

©飯島隆

2020年 前期シーズン 定期演奏会

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

定期演奏会チケット　各回共通1回券(全席指定)
SS席:6,500円　S席:5,500円　A席:5,000円　B席:4,000円 C席:3,000円

第557回 4月18日(土) 18:45
高崎芸術劇場 大劇場

指揮：大植英次　チェロ：ミハル・カニュカ*
ハイドン／
チェロ協奏曲 第2番 ニ長調 Hob. Ⅶb-2
ラフマニノフ／
交響曲 第2番 ホ短調 作品27

第558回 5月23日(土) 18:45
高崎芸術劇場 大劇場

指揮:飯森範親　ピアノ:三原未紗子*
ベートーヴェン／
ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 作品15*
マーラー／
交響曲 第5番 嬰ハ短調

©山岸伸

© Masaaki Tomitori

第559回 6月20日(土) 18:45
高崎芸術劇場 大劇場

指揮:広上淳一
ブルックナー／
交響曲 第8番 ハ短調 WAB108(ハース版)

第560回 7月4日(土) 18:45
高崎芸術劇場 大劇場

指揮:小林研一郎　ピアノ:阪田知樹*
ベートーヴェン／
ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37*
ブラームス／
交響曲 第1番 ハ短調 作品68

©山本倫子

各コンサートの詳細・チケットについては群響HPをご覧ください。
群響ホームページ　http://www.gunkyo.com/
群馬交響楽団事務局 (平日 10：00～18：00) 027-322-4944 (チケット専用電話)

NHK交響楽団

問合せ　03-5793-8161

NHKSO NHK SYMPHONY ORCHESTRA TOKYO

定期公演 Spring Season

http://www.nhkso.or.jp
Follow us on

Aプログラム (NHKホール) 土18:00 日15:00	Bプログラム (サントリーホール) 水木19:00	Cプログラム (NHKホール) 金19:00 土15:00
第1936回 **4/11(土), 12(日)** 指揮：レナード・スラットキン サクソフォーン：ブランフォード・マルサリス ジョン・アダムズ／サクソフォーン協奏曲 ヴォーン・ウィリアムズ／交響曲 第５番　ほか	**第1938回** **4/22(水), 23(木)** 指揮：レナード・スラットキン ヴァイオリン：レイ・チェン メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲 マクティ／交響曲 第１番 ほか	**第1937回** **4/17(金), 18(土)** 指揮：レナード・スラットキン 語り：石丸幹二 コープランド生誕 120 年・没後 30 年 バレエ音楽「アパラチアの春」　ほか
© Kaupo Kikkas **第1939回** **5/9(土), 10(日)** 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ ヴァイオリン：ジャニーヌ・ヤンセン ブリテン／シンフォニア・ダ・レクイエム、ヴァイオリン協奏曲 ほか	**第1941回** **5/20(水), 21(木)** 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ R. シュトラウス／「ヨセフの伝説」から交響的断章、アルプス交響曲	**第1940回** **5/15(金), 16(土)** 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ ピアノ：ジャン・イヴ・ティボーデ ソプラノ：森 麻季 プーランク／グロリア ほか
© Felix Broede © Marco Borggreve © Felix Broede **第1944回** **6/27(土), 28(日)** 指揮：ケント・ナガノ マーラー／交響曲 第９番	**第1943回** **6/17(水), 18(木)** 指揮：鈴木雅明 ベートーヴェン生誕 250 年 ベートーヴェン／ミサ・ソレムニス 合唱：バッハ・コレギウム・ジャパン　ほか	**第1942回** **6/12(金), 13(土)** 指揮：ユッカ・ペッカ・サラステ ヴァイオリン：ペッカ・クーシスト ストラヴィンスキー／ヴァイオリン協奏曲 シベリウス／交響曲 第１番 ほか

藝大フィルハーモニア管弦楽団

問合せ　050-5525-2300

定期演奏会

2020 5/29 (金) 19:00 開演
会場：東京藝術大学奏楽堂

ベルト：ベンジャミン・ブリテンへの追悼歌
R. シュトラウス：オーボエ協奏曲 ニ長調
チャイコフスキー：交響曲第５番 ホ短調 作品 64

《全席自由》 3,000 円

指揮：山下一史 © Kei ueda

オーボエ：吉井瑞穂 ©Marco Borggreve

2020 年度
モーニング・コンサート
11:00 開演
4.30 (木)　5.14 (木)
5.21 (木)　6.11 (木)
6.18 (木)　7.2 (木)
7.16 (木)　7.30 (木)
8.27 (木)　9.10 (木)
11.5 (木)
2021 年
2.18 (木)　3.18 (木)

http://www.geidai.ac.jp/event/sogakudo/

4月 April

14日(火)
OEK 音楽祭プレコンサート
19：45 (石川県立音楽堂)

15日(水)
東京フィル 定期
19：00 (サントリー) ⇨ 13 p

17日(金)
N響 定期 Cプロ
19：00 (NHK) ⇨ 11 p
新日本フィル 定期 トパーズ
19：15 (トリフォニー) ⇨ 12 p
日本フィル 東京定期
19：00 (サントリー) ⇨ 14 p
名フィル 定期
18：45 (愛知芸劇) ⇨ 15 p
兵庫芸文管 定期
15：00 (芸術文化センター) ⇨ 17 p

18日(土)
群響 定期
18：45 (高崎芸劇) ⇨ 11 p
N響 定期 Cプロ
15：00 (NHK) ⇨ 11 p
新日本フィル 定期 トパーズ
14：00 (トリフォニー) ⇨ 12 p
東響 オペラシティシリーズ
14：00 (オペラシティ)
日本フィル 東京定期
14：00 (サントリー) ⇨ 14 p
名フィル 定期
16：00 (愛知芸劇) ⇨ 15 p
兵庫芸文管 定期
15：00 (芸術文化センター) ⇨ 17 p
京フィル 定期A「室内オーケストラの名曲」
14：00 (京都コンサート小) ⇨ 15 p

19日(日)
東響 名曲全集
14：00 (ミューザ川崎)
兵庫芸文管 定期
15：00 (芸術文化センター) ⇨ 17 p
広響 廿日市定期
15：00 (ウッドワンさくらぴあ)

20日(月)
都響 定期C
14：00 (東京芸劇)

21日(火)
都響 定期A
19：00 (東京文化)

22日(水)
N響 定期 Bプロ
19：00 (サントリー) ⇨ 11 p
新日本フィル 室内楽シリーズ
～楽団員プロデューサー編～
19:15 (トリフォニー)

23日(木)
N響 定期 Bプロ
19：00 (サントリー) ⇨ 11 p
OEK 定期 フィルハーモニー
19：00 (石川県立音楽堂) ⇨ 15 p

24日(金)
札響 定期
19：00 (Kitara) ⇨ 10 p
新日本フィル 定期 ジェイド
19：00 (サントリー) ⇨12 p
京響 定期
19：00 (京都コンサート)
九響 定期
19：00 (福岡シンフォニー) ⇨ 19 p
藝大フィル 新卒業生紹介演奏会
18：30 (東京藝大奏楽堂)

25日(土)
札響 定期
14：00 (Kitara) ⇨ 10 p
東響 定期
18：00 (サントリー) ⇨ 12 p
日本フィル 横浜定期
18：00 (みなとみらい) ⇨ 14 p
読響 土曜マチネー
14：00 (東京芸劇)
神奈川フィル 定期
15：00 (神奈川県民ホール)
兵庫芸文管 室内楽(弦楽)
14：00 (芸術文化センター 小)

26日(日)
東響 川崎定期
14：00 (ミューザ川崎) ⇨ 12 p
読響 日曜マチネー
14：00 (東京芸劇)
広響 定期
15：00 (HBG ホール)

27日(月)
新日本フィル「大人のためのコンサート」
15：00 (トリフォニー)

CONCERTS THROUGHOUT JAPAN 4月~7月

4月 April

28日(火)
読響 名曲
19:00(サントリー)

29日(水・祝)
仙台フィル ライナー・キュッヒル ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲に挑む
15:00(日立システムズホール仙台)
山響 ドラゴンクエスト
15:00(やまぎん)
東響 0歳からのオーケストラ
11:00/14:30(ミューザ川崎)
日本フィル 名曲コンサート
14:00(サントリー)
読響 みなとみらい名曲
14:00(みなとみらい)
OEK 風と緑の楽都音楽祭
14:00(石川県立音楽堂)
関西フィル 定期
14:00(ザ・シンフォニー) ⇨ 17 p
兵庫芸文管 名曲コンサート
15:00(芸術文化センター)

30日(木)
藝大フィル モーニング・コンサート
11:00(東京藝大奏楽堂) ⇨ 11 p
テレマン 定期
18:30(東京文化)

5月 May

1日(金)
東京シティ・フィル 定期
19:00(オペラシティ) ⇨ 12 p
テレマン マンスリー
18:30(大阪倶楽部)

3日(日・祝)
OEK 風と緑の楽都音楽祭
14:00/18:00(石川県立音楽堂)

4日(月・祝)
N響 Music Tomorrow 2020
16:00(オペラシティ)
OEK 風と緑の楽都音楽祭
10:00/16:40(石川県立音楽堂)
大阪フィル ドラゴンクエスト・コンサート
15:00(びわ湖ホール)

5日(火・祝)
京フィル はじめてのクラシック
11:00/14:30(京都コンサート小)
OEK 風と緑の楽都音楽祭
14:00/18:15(石川県立音楽堂)

6日(水・振替休日)
静響 クラシック・ポップスコンサート
14:00(しずぎんユーフォニア) ⇨ 13 p

8日(金)
都響 定期A
19:00(東京文化)
関西フィル スプリング・スペシャル
19:00(フェニックス)

9日(土)
札響 シンフォニックブラス
15:00(Kitara)
N響 定期 Aプロ
18:00(NHK) ⇨ 11 p
ニューシティ管 定期
14:00(東京芸劇) ⇨ 13 p
日本フィル 横浜定期
18:00(みなとみらい)
神奈川フィル 特別公演
14:00(海老名市文化)
大阪響 名曲コンサート
13:30/17:00(ザ・シンフォニー) ⇨ 16 p
九響 天神でクラシック
15:00(FFG)

10日(日)
N響 定期 Aプロ
15:00(NHK) ⇨ 11 p
日本フィル サンデーコンサート
14:30(東京芸劇)

新日本フィルハーモニー交響楽団

問合せ 03-5610-3815

ルビー〈アフタヌーン コンサート・シリーズ〉

すみだトリフォニーホール
#30 4月10日(金) 14:00
11日(土) 14:00
【指揮】エド・デ・ワールト
【ヴァイオリン】エスター・ユー*
チャイコフスキー:
幻想的序曲「ロミオとジュリエット」、
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調
ラフマニノフ:交響的舞曲

© Jesse Willems

© Marco Borggreve

トパーズ〈トリフォニーホール・シリーズ〉

すみだトリフォニーホール
#615 4月17日(金) 19:15
18日(土) 14:00
【指揮】上岡敏之
レオポルド・ヴァン・デア・パルス:
交響曲第1番 嬰ヘ短調
ラフマニノフ:
交響曲第2番 ホ短調

© 堀田力丸

ジェイド〈サントリーホール・シリーズ〉

サントリーホール
#619 4月24日(金) 19:00
【指揮】ヴァレンティン・ウリュービン
【ピアノ】:ドミートリイ・マスレーエフ*
チャイコフスキー:
歌劇『エフゲニー・オネーギン』より ポロネーズ、
ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調*、
交響曲第4番 ヘ短調

© Evgeny Evtyukhov

© alexandra horoshvan

新日本フィル・チケットオンライン www.njp.or.jp

東京交響楽団

問合せ 044-520-1511

4月25日(土) 6:00p.m. サントリーホール
4月26日(日) 2:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホール
【指揮】ジョナサン・ノット【バスバリトン】ニール・デイヴィス【合唱】東響コーラス
藤倉 大:海 エルガー:エニグマ変奏曲
ウォルトン:オラトリオ「ベルシャザールの饗宴」

S席¥10,000
A席¥8,000
B席¥6,000
C席¥4,000

5月30日(土) 6:00p.m. サントリーホール
【指揮】下野竜也 【ヴァイオリン】南 紫音
ボッケリーニ(ベリオ編曲):マドリードの夜の帰営ラッパ
ベルク:ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」
ベートーヴェン:「フィデリオ」序曲、「レオノーレ」序曲第1番、第2番、第3番

S席¥7,000
A席¥6,000
B席¥5,000
C席¥4,000
P席¥2,500

6月26日(金) 7:00p.m. サントリーホール
6月28日(日) 2:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホール
【指揮】ユベール・スダーン 【ピアノ】イノン・バルナタン
ベートーヴェン:「プロメテウスの創造物」序曲、ピアノ協奏曲第3番
メンデルスゾーン:交響曲第3番「スコットランド」

S席¥8,000
A席¥6,000
B席¥5,000
C席¥4,000
P席¥2,500

TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511(平日10:00~18:00)
東京交響楽団 検索

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 03-5624-4002

定期演奏会 会場:東京オペラシティ コンサートホール

第333回 2020年4月11日(土) 14時開演
【指揮】高関 健(常任指揮者) 【ピアノ】デジュー・ラーンキ
ブラームス:ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品83
リヒャルト・シュトラウス:
交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」作品30

第334回 2020年5月1日(金) 19時開演
【指揮】秋山和慶 【ヴァイオリン】山根 一仁
ラヴェル:組曲「マ・メール・ロワ」
ドビュッシー:交響詩「海」
グラズノフ:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品82
ストラヴィンスキー:バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

第335回 2020年6月26日(金) 19時開演
【指揮】藤岡幸夫(首席客演指揮者) 【チェロ】宮田 大
ディーリアス(フェンビー編):2つの水彩画
吉松隆:チェロ協奏曲「ケンタウルス・ユニット」作品91
ヴォーン・ウィリアムズ:交響曲第2番「ロンドン交響曲」

S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000(座席指定・税込)
プラチナS席¥4,500 プラチナA席¥3,500
U20¥1,000 U30¥2,000(U20、U30は座席指定不可・税込)

© StasLevshin

© Szilvia Csibi

© K.MIURA

© 青柳聡

© M.Yamashiro

第61回 ティアラこうとう 定期演奏会

会場:ティアラこうとう 大ホール
2020年5月30日(土) 15時開演
【指揮】高関 健(常任指揮者)
コープランド:
バレエ組曲「アパラチアの春」
コープランド:
バレエ組曲「ビリー・ザ・キッド」
チャイコフスキー:
交響曲第4番 ヘ短調 作品36

© 堀田力丸

S¥3,500 A¥3,000 B¥2,500
(座席指定・税込)
U20¥1,000 U30¥1,500
(U20、U30は座席指定不可・税込)

千葉交響楽団

問合せ 043-222-4231

第107回定期演奏会「新しい響きの饗宴」

http://chibakyo.jp/
かなでる、千葉が響きだす CHIBA SYMPHONY ORCHESTRA since1965

2020年5月23日(土) 14:00開演
会場:習志野文化ホール(JR津田沼駅より徒歩約5分)
【指揮】山下一史 【サクソフォン】須川展也
ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲
ドビュッシー/アルト・サクソフォンと管弦楽のためのラプソディ
ファジル・サイ/アルト・サクソフォンと管弦楽のためのバラード作品67
ムソルグスキー=ラヴェル/組曲「展覧会の絵」
【料金】S席4000円 A席3000円 B席2000円(大学生以下・65歳以上は全券種とも各500円引き)

指揮 山下一史 © ai ueda

サクソフォン 須川展也

東京都交響楽団　問合せ　0570-056-057

東京ニューシティ管弦楽団　問合せ　03-5933-3266

定期演奏会　会場:東京芸術劇場コンサートホール　2020年度 前期定期会員募集中

【全席指定】SS席:10,000円　S席:6,500円　A席:5,000円　B席:3,500円　C席:2,500円　E席:6,500円

第130回
5月9日(土)開演 14:00
指揮:エーロ・レヒティマキ
チェロ:長谷川陽子
シベリウス／交響詩「エン・サガ」作品9
コッコネン／チェロ協奏曲
シベリウス／交響曲第6番 ニ短調 作品104
シベリウス／交響詩「フィンランディア」作品26

第131回
6月15日(月)開演 19:00
指揮:秋山和慶
ヴァイオリン:竹澤恭子
リスト／交響詩「レ・プレリュード」
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77
バルトーク／管弦楽のための協奏曲

第132回
7月18日(土)開演 14:00
指揮:ロッセン・ゲルゴフ
ハープ:吉野直子
スーク／幻想的スケルツォ作品25
グリエール／ハープ協奏曲 変ホ長調 作品74
ドヴォルザーク／交響曲第8番 ト長調 作品88

第133回
9月27日(日)開演 14:00
指揮:曽我大介
ヴァイオリン:ディマ・トカチェンコ
曽我大介／上溝(かみみぞ)のお囃子による序曲(新作初演)
Y.スタンコヴィッチ／ヴァイオリン協奏曲第2番(本邦初演)
伊福部昭／SF交響ファンタジー第1番
伊福部昭／シンフォニア・タプカーラ

東京フィルハーモニー交響楽団　問合せ　03-5353-9522

2020シーズン定期演奏会

チケット料金　SS席¥15,000　S席¥10,000　A席¥8,500　B席¥ 7,000　C席¥ 5,500

東京フィルチケットサービス 03-5353-9522 (平日10～18時・土日祝休)　東京フィル WEB チケットサービス www.tpo.or.jp/

4月

12日(日) 15:00開演
Bunkamuraオーチャードホール

14日(火) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

15日(水) 19:00開演 サントリーホール
指揮：佐渡裕　ソプラノ：天羽明惠 *
語り：原田美枝子 *　合唱：晋友会合唱団 *
児童合唱：東京少年少女合唱隊
バーンスタイン／ディヴェルティメント
前奏曲、フーガとリフス
交響曲第3番『カディッシュ』

6月

21日(日) 15:00開演
Bunkamuraオーチャードホール

22日(月) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

24日(水) 19:00開演
サントリーホール
指揮：ミハイル・プレトニョフ
シチェドリン／カルメン組曲
チャイコフスキー／組曲第3番

7月

15日(水) 19:00開演 サントリーホール

17日(金) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

19日(日) 15:00開演
Bunkamuraオーチャードホール
指揮：チョン・ミョンフン
ヴァイオリン：服部百音*
ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲*
交響曲第3番『英雄』

静岡交響楽団　問合せ　054-203-6578

クラシック・ポップスコンサート

5月6日(水・振替休日)14:00開演
しずぎんホール　ユーフォニア
【指揮】山下一史
ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲
アンダーソン／タイプライター
スメタナ／連作交響詩「わが祖国」より"モルダウ"他

第94回定期演奏会

6月13日(土)14:00開演
静岡市清水文化会館マリナート
【指揮】梅田俊明
【ヴァイオリン】和波孝禧
ベートーヴェン／序曲「コリオラン」
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク／交響曲第7番

第95回定期演奏会

7月11日(土)14:00開演
静岡市清水文化会館マリナート
【指揮】高関 健
【ピアノ】岡田 奏
ブラームス／大学祝典序曲
シューマン／ピアノ協協奏曲
プロコフィエフ／交響曲第5番

5月 May

13日(水)
新日本フィル 室内楽シリーズ ～楽団員プロデューサー編～ 19:15 (トリフォニー)
読響 定期 19:00 (サントリー) ⇨14p
関西フィル いずみシリーズ 19:00 (いずみホール)

14日(木)
センチュリー響 定期 19:00 (ザ・シンフォニー) ⇨17p
藝大フィル モーニング・コンサート 11:00 (東京藝大奏楽堂) ⇨11p

15日(金)
札響 定期 19:00 (Kitara) ⇨10p
仙台フィル 定期 19:00 (日立システムズホール仙台) ⇨10p
N響 定期 Cプロ 19:00 (NHK) ⇨11p
新日本フィル 定期 ルビー 14:00 (トリフォニー)
日本フィル 東京定期 19:00 (サントリー)
名フィル 定期 18:45 (愛知芸劇) ⇨15p
大阪響 定期 19:00 (ザ・シンフォニー)
大阪フィル 定期 19:00 (フェスティバル) ⇨16p

16日(土)
札響 定期 14:00 (Kitara) ⇨10p
仙台フィル 定期 15:00 (日立システムズホール仙台) ⇨10p
山響 定期 19:00 (山形テルサ)
N響 定期 Cプロ 15:00 (NHK) ⇨11p
新日本フィル 定期 ルビー 14:00 (トリフォニー)
日本フィル 東京定期 14:00 (サントリー)
神奈川フィル 定期 14:00 (みなとみらい)
名フィル 定期 16:00 (愛知芸劇) ⇨15p
京響 定期 14:30 (京都コンサート)
大阪フィル 定期 15:00 (フェスティバル) ⇨16p
広響 音楽の花束〈春〉 15:00 (フェニックス)
奈良フィル サロンコンサート 14:00 (やまと郡山城)

17日(日)
山響 定期 15:00 (山形テルサ)
東響 名曲全集 14:00 (ミューザ川崎)
都響 定期C 14:00 (東京芸劇)
OEK 北陸新人登竜門 15:00 (石川県立音楽堂)
京響 定期 14:30 (京都コンサート)
中部フィル 定期 15:00 (しらかわホール) ⇨14p

19日(火)
読響 名曲 19:00 (サントリー)

20日(水)
N響 定期 Bプロ 19:00 (サントリー) ⇨11p

21日(木)
N響 定期 Bプロ 19:00 (サントリー) ⇨11p
藝大フィル モーニング・コンサート 11:00 (東京藝大奏楽堂) ⇨11p

22日(金)
セントラル愛知 定期 18:45 (しらかわホール) ⇨15p
関西フィル 定期 19:00 (ザ・シンフォニー) ⇨17p
九響 定期 19:00 (福岡シンフォニー) ⇨19p

23日(土)
仙台フィル「日本のオーケストラ音楽」展 15:00 (日立システムズホール仙台) ⇨10p
群響 定期 18:45 (高崎芸劇) ⇨11p
新日本フィル 定期 ジェイド 14:00 (サントリー)

CONCERTS THROUGHOUT JAPAN 4月~7月

5月 May

23日(土)
読響 土曜マチネー
14：00（東京芸劇）
OEK 定期 マイスター
14：00（石川県立音楽堂）⇨ 15 p
センチュリー響 豊中名曲
15：00（豊中市文芸センター）⇨ 17 p
兵庫芸文管 室内楽（木管）
14：00（芸術文化センター 小）
千葉響 定期
14：00（習志野文化）⇨ 12 p

24日(日)
新日本フィル 特別 サファイア
14:00（みなとみらい）
読響 日曜マチネー
14：00（東京芸劇）
大阪フィル チャイコフスキー・チクルス
15：00（フェスティバル）
広響 400回記念定期
15：00（HBG ホール）⇨ 18 p
岡山フィル 定期
15：00（岡山シンフォニー）

28日(木)
札響 新・定期
19：00（hitaru）⇨ 10 p
京フィル 定期B「室内楽の愉しみ」
18：30（京都文化博物館）

29日(金)
日本フィル さいたま定期
19：00（ソニックシティ）
大阪フィル ソワレ・シンフォニー
19：00（ザ・シンフォニー）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨ 17 p
藝大フィル 定期
19：00（東京藝大奏楽堂）⇨ 11 p
NOCE 長崎定期
19：00（長崎市民）⇨ 18 p

30日(土)
山響 村山公演
14：00（村山市民）
東響 定期
18：00（サントリー）⇨ 12 p
東京シティ・フィル 定期
15：00（ティアラこうとう）⇨ 12 p
日本フィル 杉並公会堂シリーズ
15：00（杉並公会堂）
名フィル 豊田市コンサートホール・シリーズ
16：00（豊田市コンサート）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨ 17 p
NOCE 大村定期
14：00（シーハットおおむら）⇨ 18 p

31日(日)
日本フィル 名曲コンサート
14：00（サントリー）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨ 17 p
奈良フィル スペシャルオペラセレクト&ヴァイオリン協奏曲
15：00（奈良県文化）⇨ 18 p

6月 June

4日(木)
センチュリー響 定期
19：00（ザ・シンフォニー）⇨ 17 p

5日(金)
札響 置戸公演
18：30（置戸町中央公民館）
仙台フィル 定期
19：00（日立システムズホール仙台）⇨ 10 p
東京フィル 平日の午後のコンサート
14：00（オペラシティ）
日本フィル 東京定期
19：00（サントリー）⇨ 14 p
兵庫芸文管 モーニング室内楽
10：30（芸術文化センター 小）

日本フィルハーモニー交響楽団　問合せ　03-5378-5911

ピエタリ・インキネン・ベートーヴェン・ツィクルス

第719回 東京定期演奏会【ベートーヴェン生誕250年 Vol.3】
2020年4月17日(金)19:00／18日(土)14:00 会場:サントリーホール
指揮：ピエタリ・インキネン（首席指揮者）　ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番　ブルックナー：交響曲第4番《ロマンティック》

第356回 横浜定期演奏会【ベートーヴェン生誕250年 Vol.4】
2020年4月25日(土)18:00 会場:横浜みなとみらいホール
指揮：ピエタリ・インキネン（首席指揮者）　ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》、ベートーヴェン：交響曲第4番

第721回 東京定期演奏会【ベートーヴェン生誕250年 Vol.5】
2020年6月5日(金)19:00／6日(土)14:00 会場:サントリーホール
指揮：ピエタリ・インキネン（首席指揮者）
ドヴォルジャーク：序曲《フス教徒》、ベートーヴェン：交響曲第2番、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》

S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C ¥5,000（東京定期完売）　P ¥4,000（横浜定期完売）　Ys（25歳以下）¥1,500　好評発売中
［お問合せ・お申込み］日本フィル・サービスセンター　TEL:03-5378-5911（平日10時~17時）　FAX:03-5378-6161　eチケット♪ www.japanphil.or.jp

読売日本交響楽団　問合せ　0570-00-4390

次世代の旗手・鈴木優人が振るシューベルト & ベリオ
ジャーマン・ブラスを率いる世界的名手ヘフスの、輝かしい音色を堪能
5月13日(水) 19:00開演 サントリーホール
指揮：鈴木優人（指揮者／クリエイティヴ・パートナー）　トランペット：マティアス・ヘフス
シューベルト／交響曲第4番「悲劇的」　ベーメ／トランペット協奏曲
ベリオ／レンダリング～シューベルトの未完の断片を用いて～
【料金】S ¥7,600 A ¥6,600 B ¥5,600 C ¥4,100

©読響

ドイツの名匠ヴァイグレが、「ワルキューレ」第1幕を指揮
世界的最高峰の歌劇場で活躍する3人のソリストが、圧倒的な歌唱で魅了
7月14日(火)、16日(木) 19:00開演 サントリーホール
指揮：セバスティアン・ヴァイグレ（常任指揮者）　ジークリンデ：ジェニファー・ホロウェイ（ソプラノ）
ジークムント：ベーター・ザイフェルト（テノール）　フンディング：ファルク・シュトルックマン（バス）
ワーグナー：歌劇「リエンツィ」序曲、ジークフリート牧歌、
楽劇「ワルキューレ」第1幕（演奏会形式）
【料金】S ¥9,700　A ¥7,600　B ¥6,100　C ¥4,600

©読響

https://yomikyo.or.jp/

神奈川フィルハーモニー管弦楽団　問合せ　045-226-5107

定期演奏会　みなとみらいシリーズ　第358回
4月11日(土) 14時　横浜みなとみらいホール
【指揮】川瀬賢太郎
別宮貞雄／管弦楽のための2つの祈り
伊藤康英／管弦楽のための交響詩「ぐるりよざ」
ストラヴィンスキー／「春の祭典」
【料金】S6,000円 A4,500円 B3,000円

定期演奏会　音楽堂シリーズ　第17回
7月4日(土) 15時　神奈川県立音楽堂
【指揮】田中祐子　【ピアノ】小林愛実
モーツァルト／交響曲第31番
サン＝サーンス／交響曲第2番　ほか
【料金】S4,500円 A3,500円

https://www.kanaphil.or.jp

中部フィルハーモニー交響楽団　問合せ　0568-43-4333

第70回定期演奏会
NAGOYA シリーズ①
秋山のベートーヴェン
生誕250周年記念ツィクルス1
2020年5月17日(日)
開演15:00
三井住友海上しらかわホール
指揮：秋山和慶
ベートーヴェン：交響曲第1番ハ長調　作品21
交響曲第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

創立20周年記念コンサート
2020年6月27日(土)
開演 15：00
愛知県芸術劇場コンサートホール
指揮：秋山和慶　ヴァイオリン：竹澤恭子
オルガン：都築由理江
バンダ：ルロウ・ブラスオルケスター金管セクション
ショスタコーヴィチ：祝典序曲 作品96
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35
サン＝サーンス：交響曲第3番 ハ短調 作品78

©松永学

【お問合せ】http://www.chubu-phil.com/　info@chubu-phil.com

セントラル愛知交響楽団　問合せ　052-581-3851

第175回定期演奏会
2020年5月22日(金)
18:00開場／18:45開演
三井住友海上しらかわホール
指揮／角田鋼亮（当団常任指揮者）
ユーフォニアム／小寺香奈
ラモー：歌劇「優雅なインドの国々」より抜粋
山本裕之：ディクトゥム・ファクトゥム
～ユーフォニアムとオーケストラのための
ベートーヴェン：
交響曲第5番 ハ短調「運命」Op.67

第176回定期演奏会
2020年6月26日(金)
18:00開場／18:45開演
三井住友海上しらかわホール
指揮 / マーク・マスト
ヴァイオリン / 中村太地
ブラームス：
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77
シューベルト：交響曲第9番 ハ長調
「ザ・グレート」D.944

第177回定期演奏会
2020年7月24日(金・祝)
13:45開場／14:30開演
三井住友海上しらかわホール
指揮 / 小松長生（当団名誉指揮者）
チェロ / 荒井 結
シューマン：交響曲第2番 ハ長調 Op.61
チャイコフスキー：
ロココの主題による変奏曲 イ長調 Op.33
メンデルスゾーン：交響曲第5番 ニ長調
「宗教改革」Op.107

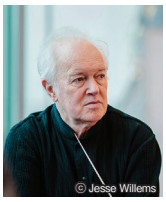
［全席指定］A席4,500円　B席3,500円　C席2,500円　学生1,000円（学生席は座席指定不可・指定の場合は各席半額。）

［主催お問い合わせ］セントラル愛知交響楽団　☎052-581-3851　http://www.caso.jp/

名古屋フィルハーモニー交響楽団　問合せ　052-339-5666

名フィル 定期演奏会　会場：愛知県芸術劇場コンサートホール
開演：［金］18:45　［土］16:00

第478回 ＜冗談＞
4月17日(金)／18日(土)
エド・デ・ワールト（指揮）　アタッカ・カルテット（弦楽四重奏）*
アダムズ：主席は踊る－管弦楽のためのフォックストロット
アダムズ：アブソリュート・ジェスト－弦楽四重奏と管弦楽のための*
ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調 作品92
［チケット料金］S席：¥7,400　A席：¥6,400　B席：¥5,200　C席：¥4,200



第479回 ＜克服＞
5月15日(金)／16日(土)
ジェフリー・パターソン（指揮）　本條秀慈郎（三味線）*
ラヴェル：クープランの墓
藤倉大：三味線協奏曲*［長谷川綾子と本條秀慈郎による委嘱作品／管弦楽版・日本初演］
ディーン：テスタメント－管弦楽のための音楽
（ベートーヴェンのハイリゲンシュタットの遺書による）［管弦楽版・日本初演］
ベートーヴェン：交響曲第2番ニ長調 作品36
［チケット料金］S席：¥6,400　A席：¥5,200　B席：¥4,200　C席：¥3,200

※各公演25歳以下・65歳以上に割引あり　お問い合わせ：名フィル・チケットガイド　Tel. 052-339-5666（9:00～17:30／土日祝休）　www.nagoya-phil.or.jp

オーケストラ・アンサンブル金沢　問合せ　076-232-8632

定期公演 石川県立音楽堂コンサートホール
SS席6,000円　S席5,000円　A席4,000円　B席3,000円
スターライト1,000円 ※25歳以下の方、当日券50%オフ（要証明書類）

第428回 フィルハーモニー・シリーズ
田中祐子指揮 「春」をテーマにしたクラシック
4月23日(木) 19:00 開演
指揮：田中祐子
三木稔／弦楽のための春（1996）
藤倉大／Umi（海）（2014/2017）
シューマン／交響曲 第1番「春」

第429回 マイスター・シリーズ
アンジェラ・ヒューイット登場。バッハのピアノ協奏曲集。
5月23日(土) 14:00 開演
指揮・ピアノ：アンジェラ・ヒューイット
J. S. バッハ／ピアノ協奏曲 第3番、第5番、第7番、第2番、第1番

第430回 マイスター・シリーズ
ダニエーレ・ルスティオーニ OEK 定期に登場
7月4日(土) 14:00 開演
指揮：ダニエーレ・ルスティオーニ
ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ
ベートーヴェン／序曲「コリオラン」
「プロメテウスの創造物」序曲
モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲 第2番
交響曲 第38番「プラハ」

第431回 フィルハーモニー・シリーズ
川瀬賢太郎と菊池洋子によるモーツァルトへのオマージュ
7月16日(木) 19:00 開演
指揮：川瀬賢太郎　ピアノ：菊池洋子
細川俊夫／月夜の蓮 ～モーツァルトへのオマージュ（2006）
モーツァルト／ピアノ協奏曲 第23番、
歌劇《偽りの女庭師》序曲、
歌劇《羊飼いの王様》序曲、
歌劇《イドメネオ》序曲、
歌劇《劇場支配人》序曲　ほか

http://www.oek.jp

京都フィルハーモニー室内合奏団　問合せ　075-212-8275

ユニークな室内オーケストラ 京フィルの魅力をたっぷりとお届けします！

第223回定期公演A 「室内オーケストラの名曲」
2020年4月18日(土) 開演14:00
ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲集「四季」より＜春＞
バッハ／オーボエとヴァイオリンのための協奏曲 BWV1060
ブラームス／セレナード 第1番 ニ長調 Op.11（ブースステッド版）

第225回定期公演A 「室内オーケストラの夏」
2020年6月13日(土) 開演14:00
ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲集「四季」より＜夏＞
モーツァルト／アイネクライネナハトムジーク
オネゲル／夏の牧歌
フランセ／木管五重奏と弦楽五重奏のための十重奏曲
サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」

京都コンサートホール小ホール（アンサンブルホールムラタ）
チケット代（前売・税込）S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円、ユース席（25歳以下）1,000円
※当日券500円増、未就学児入場不可　チケットセンター 075-212-8744

6月 June

5日(金)
藝大フィル 創造の杜
19：00（東京藝大奏楽堂）

6日(土)
札響 中標津公演
15：00（中標津町総合文化）
仙台フィル 定期
15：00（日立システムズホール仙台）⇨10 p
日本フィル 東京定期
14：00（サントリー）⇨14 p
九響 名曲・午後のオーケストラ
14：00（福岡シンフォニー）

9日(火)
読響 定期
19：00（サントリー）

10日(水)
日本フィル とっておきアフタヌーン
14：00（サントリー）
大阪フィル マチネ・シンフォニー
14：00（ザ・シンフォニー）

11日(木)
OEK 小松定期
19：00（小松うらら）
大阪響 定期
19：00（ザ・シンフォニー）
藝大フィル モーニング・コンサート
11：00（東京藝大奏楽堂）⇨11 p

12日(金)
N響 定期 Cプロ
19：00（NHK）⇨11 p
名フィル 市民会館名曲シリーズ
18：45（フォレストホール）
センチュリー響 ハイドンマラソン
19：00（ザ・シンフォニー）⇨17 p

13日(土)
山響 定期
19：00（山形テルサ）
N響 定期 Cプロ
15：00（NHK）⇨11 p
日本フィル 横浜定期
18：00（みなとみらい）
東京シティ・フィルのドラゴンクエスト
14：00（オペラシティ）
読響 土曜マチネー
14：00（東京芸劇）
広響 定期
15：00（HBG ホール）
静響 定期
14：00（清水マリナート）⇨13 p
京フィル 定期A「室内オーケストラの夏」
14：00～（京都コンサート小）⇨15 p

14日(日)
山響 定期
15：00（山形テルサ）
読響 日曜マチネー
14：00（東京芸劇）

15日(月)
ニューシティ管 定期
19：00（東京芸劇）⇨13 p

17日(水)
N響 定期 Bプロ
19：00（サントリー）⇨11 p
関西フィル 三大テノールの宴
19：00（ザ・シンフォニー）
岡山フィル 小中音楽鑑賞教室
10：30/14：00（岡山シンフォニー）

18日(木)
N響 定期 Bプロ
19：00（サントリー）⇨11 p
藝大フィル モーニング・コンサート
11：00（東京藝大奏楽堂）⇨11 p

19日(金)
読響 名曲
19：00（サントリー）
名フィル 定期
18：45（愛知芸劇）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨17 p
九響 定期
19：00（福岡シンフォニー）⇨19 p
岡山フィル 桃太郎伝説おかやまコンサート
19：00（岡山シンフォニー）

20日(土)
札響 名曲「めくるめく夢幻∞ワルツ」
14：00（Kitara）
山響 さくらんぼコンサート大阪
14：00（ザ・シンフォニー）⇨11 p
群響 定期
18：45（高崎芸劇）⇨11 p
神奈川フィル 特別公演
14：00（横須賀芸劇）

CONCERTS THROUGHOUT JAPAN 4月~7月

6月 June

20日(土)
名フィル 定期
16：00（愛知芸劇）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨17 p
奈良フィル サロンコンサート
14：00（やまと郡山城）
テレマン 教会音楽シリーズ
15：00（夙川教会）

21日(日)
山響 さくらんぼコンサート東京
14：00（オペラシティ）⇨11 p
東響 名曲全集
14：00（ミューザ川崎）
東京フィル 定期
15：00（オーチャード）⇨13 p
日本フィル 名曲コンサート
14：00（サントリー）
読響 みなとみらい名曲
14：00（みなとみらい）
京響 オーケストラ・ディスカバリー
14：00（京都コンサート）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨17 p

22日(月)
東京フィル 定期
19：00（オペラシティ）⇨13 p

24日(水)
東京フィル 定期
19：00（サントリー）⇨13 p

26日(金)
東響 定期
19：00（サントリー）⇨12 p
東京シティ・フィル 定期
19：00（オペラシティ）⇨12 p
セントラル愛知 定期
18：45（しらかわホール）⇨15 p
京響 定期
19：00（京都コンサート）⇨16 p
大阪フィル 定期
19：00（フェスティバル）⇨16 p
広響 ディスカバリー5
18：45（アステールプラザ）

27日(土)
N響 定期 Aプロ
18：00（NHK）⇨11 p
神奈川フィル 定期
14：00（みなとみらい）
大阪フィル 定期
15：00（フェスティバル）⇨16 p
関西フィル 定期
14：00（ザ・シンフォニー）⇨17 p
静響 青少年名曲コンサート
15：00（静岡市民文化）
中部フィル 20周年記念コンサート
15：00（愛知県芸劇）⇨14 p

28日(日)
札響 中川町公演
16:30（中川町生涯学習センター）
N響 定期 Aプロ
15：00（NHK）⇨11 p
東響 川崎定期
14：00（ミューザ川崎）⇨12 p
静響 0歳から入れる
親子クラシックコンサート
10：30（静岡市民文化）

7月 July

2日(木)
新日本フィル 定期 ジェイド〈サントリーホール・シリーズ〉
19：00（サントリー）
東京フィル 渋谷の午後のコンサート
14：00（オーチャード）
日本フィル 杉並公会堂シリーズ
19：00（杉並公会堂）

京都市交響楽団

問合せ　075-711-3110

3/28（土）から発売！

第646回定期演奏会

日本初！広上淳一が新次元を開くブルックナー
悠然かつ深淵なる後期ロマン派交響曲の大伽藍

2020年6月26日(金) 19:00開演
会場：京都コンサートホール・大ホール

指揮：広上 淳一（常任指揮者兼芸術顧問）
ブルックナー：
交響曲第 8 番ハ短調 WAB 108（ハース版）

開演前は指揮者による「プレトーク」、終演後は「レセプション」を開催！

［入場料］S：5,500 円　A：5,000 円　B：4,000 円
C：3,000 円　P：2,000 円（舞台後方席）

◆チケット・お問合せ：［京都コンサートホール・チケットカウンター］(075) 711-3231　［24時間オンラインチケット購入］https://www.e-get.jp/kyoto/pt/
◆京都市交響楽団オフィシャル・ホームページ　https://www.kyoto-symphony.jp/

大阪交響楽団

問合せ　072-226-5522

- 2020 5.9（土）●第111回 モーツァルト～ベートーヴェン～ブラームス
  モーツァルト：交響曲 第25番 ト短調 K.183
  ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 作品98 ほか
- 2020 8.1（土）●第112回 ベートーヴェン～ブラームス
  ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」
  ブラームス：交響曲 第2番 ニ長調 作品73 ほか
- 2020 9.26（土）●第113回 ベートーヴェン～サン＝サーンス
  ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37
  サン＝サーンス：交響曲 第3番 ハ短調 作品78「オルガン付き」ほか
- 2020 10.31（土）●第114回 ベートーヴェン～シューマン
  ベートーヴェン：合唱幻想曲 ハ短調 作品80
  シューマン：交響曲 第3番 変ホ長調 作品97「ライン」ほか
- 2021 1.10（日）●第115回 モーツァルトのピアノ協奏曲弾き振り
  モーツァルト：ピアノ協奏曲 第17番 ト長調 K.453
  モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 ほか

大阪フィルハーモニー交響楽団

問合せ　06-6656-4890

2020年 4月~6月 定期演奏会　会場：フェスティバルホール

第537回定期
4月10日(金)／11日(土)
19:00開演　15:00開演

ソプラノ：並河寿美　アルト：清水華澄
テノール：吉田浩之　バス：加藤宏隆
合唱：大阪フィルハーモニー合唱団
（合唱指導：福島章恭）
ベートーヴェン／ミサ・ソレムニス ニ長調 作品123

第538回定期
5月15日(金)／16日(土)
19:00開演　15:00開演

ハイドン／交響曲 第104番 ニ長調 Hob.I-104「ロンドン」
ラヴェル／クープランの墓
ストラヴィンスキー／バレエ音楽「ペトルーシュカ」（1911 年版）

第539回定期
6月26日(金)／27日(土)
19:00開演　15:00開演

R. シュトラウス／交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」作品 30
バーンスタイン／「ウェスト・サイド物語」から“シンフォニック・ダンス”
バーンスタイン／組曲「キャンディード」

［料金（全席指定・税込）］A席 6,300円　B席 5,300円　C席 4,200円　学生席（25歳以下）1,000円　BOX席 7,400円
※未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます。※学生席（25 歳以下）は、当日必ず学生証・生徒手帳をご持参ください。

ご予約・お問い合わせ：大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890　http://www.osaka-phil.com/（営業時間：平日10:00~18:00　土曜10:00~13:00　日・祝は休業）

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

問合せ　06-6334-2242

春秋座 マイ・ファースト・オペラ vol.1　W.A.モーツァルト「フィガロの結婚」

全4幕・イタリア語上演・日本語字幕

2020年7月11日(土)14:00開演
2020年7月12日(日)14:00開演
会場／京都芸術劇場 春秋座

【公演監督・指揮】井村 誠貴
【演　出】唐谷 裕子
【出　演】伯爵　仲田 尋一　萩原 寛明
伯爵夫人　山本 千尋　尾崎 比佐子
フィガロ　畑 奨　西尾 岳史
スザンナ　古瀬 まきを　原田 菜奈
【管弦楽】ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

■チケット料金＜全席指定・税込み＞
SS席 一般 ¥10,000　京都芸術劇場友の会 ¥9,000　S席 一般 ¥8,000　京都芸術劇場友の会 ¥7,000
A席 一般 ¥6,000　京都芸術劇場友の会 ¥5,000　学生&ユース席 ¥2,000（座席範囲指定有）※ユースは25歳以下　■前売開始　2020年4月16日(木)

関西フィルハーモニー管弦楽団　問合せ　06-6577-1381

定期演奏会
会場:ザ・シンフォニーホール

6,000円(S) 4,500円(A) 3,000円(B)
2,000円(C) 1,000円(学生／25歳以下)

© s.yamamoto

第309回　4月29日(水・祝) 14時
指揮：藤岡幸夫、オーギュスタン・デュメイ(Vn)
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調、
エルガー：交響曲第1番ほか

第310回　5月22日(金) 19時
指揮：藤岡幸夫
吉松 隆：鳥は静かに、マーラー：交響曲第6番「悲劇的」

第311回　6月27日(土) 14時
指揮：鈴木優人
モーツァルト：「ドン・ジョヴァンニ」序曲、
ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲、交響曲第2番

第312回　7月17日(金) 19時
指揮：藤岡幸夫、岩谷祐之(Vn)
シベリウス：ヴァイオリン協奏曲ニ短調、貴志康一：交響曲「仏陀」ほか

日本センチュリー交響楽団　問合せ　06-6848-3333

定期演奏会　会場:ザ・シンフォニーホール　19:00開演／18:00開場
【料金】A席6,500円　B席5,000円　C席3,500円　D席1,500円

第244回　2020年4月9日(木)
【指揮】秋山 和慶　【ピアノ】デジュー・ラーンキ
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58
ベートーヴェン：交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

© 飯島 隆

第245回　2020年5月14日(木)
【指揮】飯森 範親　【マリンバ】三村 奈々恵
吉松 隆：マリンバ協奏曲 作品109「バード・リズミクス」
マーラー：交響曲第1番 ニ長調「巨人」(1893年ハンブルク稿)

© 山岸 伸　© Yoshinori Kurosawa

第246回　2020年6月4日(木)
【指揮】ジョシュア・タン　【フルート】アンドラーシュ・アドリアン
【フルート】工藤 重典(友情出演)
モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より序曲
ドヴィエンヌ：フルート協奏曲 第7番 ホ短調
ドップラー：2本のフルートのための協奏曲 ニ短調
ブリテン：歌劇「ピーター・グライムズ」より4つの海の間奏曲 作品33a
ブリッジ：交響組曲「海」

© Hajská　© 土居政則

第247回　2020年7月9日(木)
【指揮】秋山 和慶　【チェロ】オーレン・シェヴリン
ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より ダッタン人の踊り
ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲 第2番 ト長調 作品126
チャイコフスキー：交響曲 第4番 ヘ短調 作品36

センチュリー豊中名曲シリーズVol.14
会場:豊中市立文化芸術センター 大ホール
S席5,000円　A席4,000円　B席2,500円
2020年5月23日(土)15:00開演／14:15開場
【指揮】栗辻 聡　【ホルン】アレッシオ・アレグリーニ
R.シュトラウス：
13管楽器のためのセレナード
変ホ長調 作品7,TrV106
R.シュトラウス：
ホルン協奏曲 第1番
変ホ長調 作品11,TrV117
ドヴォルザーク：交響曲 第8番 ト長調 作品88,B.163

© Priska Ketterer

ハイドンマラソンHM.19
会場:ザ・シンフォニーホール(1階席のみ)
A席5,000円　B席4,000円
2020年6月12日(金)
19:00開演／18:00開場
【指揮】飯森 範親
ハイドン：交響曲 第95番 ハ短調 Hob.I:95
ホルスト：吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 作品28a
ハイドン：交響曲 第93番 ニ長調 Hob.I:93
ハイドン：交響曲 第97番 ハ長調 Hob.I:97

© 山岸 伸

お問合せ／センチュリー・チケットサービス　TEL 06-6848-3311(平日10:00~18:00)　http://www.century-orchestra.jp/ticket/

兵庫芸術文化センター管弦楽団　問合せ　0798-68-0203

第123回定期演奏会
井上 道義
煌めきのスペイン
4.17(金)／18(土)／19(日)
ファリャ：「三角帽子」第1部
ロドリーゴ：アランフェス協奏曲
ファリャ：スペインの庭の夜
ファリャ：「三角帽子」第2部

指揮 井上道義 © Mieko Urisaka

ギター パブロ・サインス・ビジェガス © Lisa Mazzucco

ピアノ ルイス・フェルナンド・ペレス © Marina de Lefregeyre

第124回定期演奏会
リープライヒ
「英雄の生涯」
5.29(金)／30(土)／31(日)
アイヴズ：答えのない質問
ベートーヴェン：交響曲 第4番
R.シュトラウス：英雄の生涯

指揮 アレクサンダー・リープライヒ © SammyHart

第125回定期演奏会
下野 竜也&川久保賜紀
美しきチェコの音風景
6.19(金)／20(土)／21(日)
ドヴォルザーク：序曲「フス教徒」
ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲
ヤナーチェク：「利口な女狐の物語」組曲(ターリッヒ編)
ヤナーチェク：シンフォニエッタ

指揮 下野竜也 ©飯島隆

ヴァイオリン 川久保 賜紀 © Yuji Hori

会場：兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール　各日15:00開演　A4,000円／B3,000円／C2,000円／D1,000円(全席指定／税込)
【お問合せ先・チケットご予約】芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255

テレマン室内オーケストラ　問合せ　06-6345-1046

7月 July

2日(木)
藝大フィル モーニング・コンサート
11:00 (東京藝大奏楽堂) ⇨ 11 p

3日(金)
日本フィル さいたま定期
19:00 (ソニックシティ)
名フィル しらかわシリーズ
18:45 (しらかわホール)

4日(土)
群響 定期
18:45 (高崎芸劇) ⇨ 11 p
N響 ケント・ナガノ指揮
ヴィトマン/オラトリオ「箱舟」
17:00 (サントリー)
ニューシティ管 定期
14:00 (練馬文化)
日本フィル 横浜定期
18:00 (みなとみらい)
読響 土曜マチネー
14:00 (東京芸劇)
神奈川フィル 定期
15:00 (神奈川県立音楽堂) ⇨ 14 p
OEK 定期 マイスター
14:00 (石川県立音楽堂) ⇨ 15 p
兵庫芸文管 室内楽(金管)
14:00 (芸術文化センター 小)

5日(日)
東響 こども定期
11:00 (サントリー)
読響 日曜マチネー
14:00 (東京芸劇)
京響 名古屋公演
14:30 (愛知県芸劇)

8日(水)
新日本フィル 室内楽シリーズ
～楽団員プロデューサー編～
19:15 (トリフォニー)
兵庫芸文管 モーニング室内楽
10:30 (芸術文化センター 小)

9日(木)
センチュリー響 定期
19:00 (ザ・シンフォニー) ⇨ 17 p

10日(金)
新日本フィル 定期 トパーズ
19:15 (トリフォニー)
日本フィル 東京定期
19:00 (サントリー)
名フィル 定期
18:45 (愛知芸劇)

11日(土)
新日本フィル 定期 トパーズ
14:00 (トリフォニー)
日本フィル 東京定期
14:00 (サントリー)
神奈川フィル 定期
14:00 (みなとみらい)
名フィル 定期
16:00 (愛知芸劇)
オペ管「フィガロの結婚」
14:00 (京都芸劇) ⇨ 16 p
静響 定期
14:00 (清水マリナート) ⇨ 13 p

12日(日)
山響 山響×仙台フィル合同
15:00 (やまぎん)
都響 プロムナードコンサート
14:00 (サントリー)
関西フィル びわ湖ホール特別演奏会
14:00 (びわ湖ホール)
広響 島根定期
14:00 (プラバホール)
藝大フィル ドリームコンサート
開演時間 調整中 (東京藝大奏楽堂)
オペ管「フィガロの結婚」
14:00 (京都芸劇) ⇨ 16 p

14日(火)
読響 定期
19:00 (サントリー) ⇨ 14 p

15日(水)
札響 ポップスコンサート
19:00 (Kitara)
東京フィル 定期
19:00 (サントリー) ⇨ 13 p

16日(木)
仙台フィル オーケストラ・スタンダード
(日立システムズホール仙台)
読響 名曲
19:00 (サントリー) ⇨ 14 p
OEK 定期 フィルハーモニー
19:00 (石川県立音楽堂) ⇨ 15 p
大阪響 定期
19:00 (ザ・シンフォニー)

CONCERTS THROUGHOUT JAPAN 4月~7月

7月 July

16日(木)
- 藝大フィル モーニング・コンサート 11：00（東京藝大奏楽堂）⇨ 11 p
- テレマン 定期 18：30（大阪市中央公会堂）

17日(金)
- N響 明電舎presents N響名曲 19：00（NHK）
- 新日本フィル 定期 ルビー 14：00（トリフォニー）
- 東京フィル 定期 19：00（オペラシティ）⇨ 13 p
- 大阪フィル 神戸特別 19：00（神戸国際会館こくさい）
- 関西フィル 定期 19：00（ザ・シンフォニー）⇨ 17 p
- 広響 定期 18：45（HBG ホール）
- 九響 定期 19：00（福岡シンフォニー）⇨ 19 p

18日(土)
- 仙台フィル 山響×仙台フィル 15：00（東京エレクトロンホール宮城）
- 新日本フィル 定期 ルビー 14：00（トリフォニー）
- 東響 オペラシティシリーズ 14：00（オペラシティ）
- ニューシティ管 定期 14：00（東京芸劇）⇨ 13 p
- 日本フィル 夏休みコンサート 14：00（千葉県文化）
- 奈良フィル サロンコンサート 14：00（やまと郡山城）

19日(日)
- N響 松山定期 18：00（ひめぎん）
- 東京フィル 定期 15：00（オーチャード）⇨ 13 p
- 日本フィル 夏休みコンサート 14：00（府中の森芸劇）
- 岡山フィル 定期 15：00（岡山シンフォニー）⇨ 18 p

20日(月)
- 都響 定期A 19：00（東京文化）⇨ 13 p

21日(火)
- 日本フィル 夏休みコンサート 14：00（習志野文化）

22日(水)
- 日本フィル 夏休みコンサート 14：00（相模女子大グリーンホール）
- 大阪フィル 定期 19：00（フェスティバル）

23日(木・祝)
- 新日本フィル すみだサマーコンサート 14：00（トリフォニー）
- 東京フィル 休日の午後のコンサート 14：00（オペラシティ）
- 日本フィル 夏休みコンサート 11：00/14：00（東京芸劇）
- 大阪フィル 定期 15：00（フェスティバル）
- 九響 天神でクラシック 15：00（FFG）
- 京フィル はじめてのクラシック 11：00/14：30（京都コンサート小）

24日(金・祝)
- 仙台フィル 定期 15：00（日立システムズホール仙台）⇨ 10 p
- セントラル愛知 定期 14：30（しらかわホール）⇨ 15 p

25日(土)
- 仙台フィル 定期 15：00（日立システムズホール仙台）⇨ 10 p
- 東響 定期 18：00（サントリー）
- 日本フィル 夏休みコンサート 14：00（ソニックシティ）

広島交響楽団　問合せ　082-532-3080

～“讃”平和を讃えて～

第400回記念定期演奏会

2020年5月24日(日)15:00開演(14:00開場)
広島文化学園HBGホール

指揮：下野竜也、秋山和慶、クリスティアン・アルミンク
ピアノ：横山幸雄*
合唱：エリザベト音楽大学合唱団、ひろしまオペラルネッサンス合唱団

三善晃：祝典序曲（下野指揮）
モーツァルト：ディヴェルティメント ヘ長調 K.138（秋山指揮）
ベートーヴェン：合唱幻想曲ハ短調作品 80*（アルミンク指揮）
R.シュトラウス：楽劇「サロメ」～7つのヴェールの踊り TrV215a（アルミンク指揮）
R.シュトラウス：歌劇「カプリッチョ」TrV279 ～前奏曲、月光の音楽（下野指揮）
R.シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲 TrV227d（秋山指揮）

S:5,300円　A:4,800円　B席：4,300円（1,500円）

http://hirokyo.or.jp/

奈良フィルハーモニー管弦楽団　問合せ　0743-57-2235

奈良フィルハーモニー管弦楽団事務局 TEL 0743-57-2235　奈良県文化情報センター（文化会館内） TEL 0742-22-0200　e-mail：naraphil@leto.eonet.ne.jp

岡山フィルハーモニック管弦楽団　問合せ　086-234-7177

第65回定期演奏会

2020年7月19日(日) 15:00開演 岡山シンフォニーホール 大ホール

指揮／秋山和慶　ピアノ／松本和将

ムソルグスキー／禿山の一夜
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第3番
ファリャ／「恋は魔術師」から「火祭りの踊り」
ストラヴィンスキー／組曲「火の鳥」（1919年版）

S:5,500円　A:4,400円　B:3,300円　Bユース：1,000円
＊Bユースは19歳以下および25歳以下の学生対象です。

チケットの問合せ：岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL086-234-2010・http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/

瀬戸フィルハーモニー交響楽団　問合せ　087-822-5540

SETO PHIL

第33回定期演奏会

8月30日(日)14:00開演　サンポートホール高松 大ホール

指揮：ノールマン・ビジャヤ　ソプラノ：藤谷佳奈枝、渡辺理香
メゾソプラノ：山下裕賀　テノール：寺島弘城、若井健司
バリトン：岡 昭宏、薦田義明

G.ヴェルディ／オペラ「アイーダ」より“凱旋行進曲”ほか

S席 4,000円　A席 3,500円　B席 一般 3,000円／学生（高校生以下） 1,500円

問い合わせ　瀬戸フィル事務局　087-822-5540　Email:info@setophil.or.jp

長崎 OMURA 室内合奏団（NOCE）　問合せ　0957-47-6537

近代・ロマン派の作曲家達。長崎OMURA室内合奏団 定期演奏会

第14回 長崎公演
5月29日(金)19:00開演
長崎市民会館・文化ホール

第29回 大村公演
5月30日(土)14:00開演
シーハットおおむら・さくらホール

松原勝也（コンサートマスター）、長崎OMURA室内合奏団
芥川也寸志／弦楽のための三楽章（トリプティーク）
プロコフィエフ／古典交響曲（交響曲第1番）ニ長調 作品25
メンデルスゾーン／交響曲第1番 ハ短調 作品11 MWV.N13

【チケット】全席指定
大人 3,500円　学生 1,000円
（当日各 500円増）未就学児入場不可

問い合わせ　認定NPO法人長崎OMURA室内合奏団　TEL:0957-47-6537（平日 9時～17時）
Email:oce02@omurace.or.jp　http://www.omurace.or.jp

九州交響楽団

問合せ　092-822-8855

定期演奏会

［会場］アクロス福岡シンフォニーホール
［料金］S席：5,700円　A席：4,700円　B席：3,600円　学生席：1,500円

第384回

宗教を超え自由と平和を求めた
ベートーヴェンのメッセージ

2020年4月24日(金) 午後7時開演

指揮：小泉和裕　ソプラノ：並河寿美
アルト：清水華澄　テノール：吉田浩之
バス：山下浩司　合唱：九響合唱団
ベートーヴェン／ミサ・ソレムニス ニ長調 作品123

©勝村祐紀（勝村写真事務所）

第385回

名匠オッコ・カムが魅せるフィンランドの音風景

2020年5月22日(金) 午後7時開演

指揮：オッコ・カム
ヴァイオリン：成田達輝
サッリネン／壁の音楽 作品7
シベリウス／ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47
交響曲 第1番 ホ短調 作品39

第386回

スダーン×九響のシューベルト交響曲

2020年6月19日(金) 午後7時開演

指揮：ユベール・スダーン
シューベルト／
交響曲 第7番 ロ短調 D759「未完成」
交響曲 第8番 ハ長調 D944「グレート」

©N. Ikegami

第387回

戦後75年へI　邦人作曲家選～戦後から現在まで

2020年7月17日(金) 午後7時開演

指揮：鈴木優人　ピアノ：小菅 優
武満徹／弦楽のためのレクイエム
矢代秋雄／ピアノ協奏曲　小出稚子／委嘱作品（世界初演）
伊福部昭／シンフォニア・タプカーラ
（東京音楽大学付属図書館ニッポニカ・アーカイヴ・コレクション）

©Marco Borggreve

チケットお問い合わせ：九響チケットサービス　☎092-823-0101　http://www.kyukyo.or.jp

公益財団法人 九州交響楽団

【オーケストラ名略称】（正会員）（　）内は、正式オーケストラ名称

札響（札幌交響楽団）
仙台フィル（仙台フィルハーモニー管弦楽団）
山響（山形交響楽団）
群響（群馬交響楽団）
N響（NHK交響楽団）
新日本フィル（新日本フィルハーモニー交響楽団）
東響（東京交響楽団）
東京シティ・フィル（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団）
都響（東京都交響楽団）
ニューシティ管（東京ニューシティ管弦楽団）
東京フィル（東京フィルハーモニー交響楽団）
日本フィル（日本フィルハーモニー交響楽団）
読響（読売日本交響楽団）
神奈川フィル（神奈川フィルハーモニー管弦楽団）
セントラル愛知（セントラル愛知交響楽団）
名フィル（名古屋フィルハーモニー交響楽団）
OEK（オーケストラ・アンサンブル金沢）
京響（京都市交響楽団）
大阪響（大阪交響楽団）
大阪フィル（大阪フィルハーモニー交響楽団）
関西フィル（関西フィルハーモニー管弦楽団）
センチュリー響（日本センチュリー交響楽団）
兵庫芸文管（兵庫芸術文化センター管弦楽団）
広響（広島交響楽団）
九響（九州交響楽団）

【オーケストラ名略称】（準会員）（　）内は、正式オーケストラ名称

ユニフィル（東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団）
藝大フィル（藝大フィルハーモニア管弦楽団）
千葉響（千葉交響楽団）
静響（静岡交響楽団）
中部フィル（中部フィルハーモニー交響楽団）
京フィル（京都フィルハーモニー室内合奏団）
オペ管（ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団）
テレマン（テレマン室内オーケストラ）
奈良フィル（奈良フィルハーモニー管弦楽団）
岡山フィル（岡山フィルハーモニック管弦楽団）
瀬戸フィル（瀬戸フィルハーモニー交響楽団）
NOCE（長崎OMURA室内合奏団）

7月 July

25日(土)
京響 定期
14：30（京都コンサート）

26日(日)
山響 新庄公演
14：00（新庄市民文化）
京響 定期
14：30（京都コンサート）
広響 呉定期
14：30（呉信用金庫ホール）
テレマン 定期
14：30（東京文化）

28日(火)
日本フィル 夏休みコンサート
14：00（杉並公会堂）

29日(水)
京響 みんなのコンサート
11：00（京都市北文化）

30日(木)
都響 定期C
14：00（東京芸劇）
日本フィル 夏休みコンサート
11：00/14：00（サントリー）
京響 みんなのコンサート
11：00（京都市西文化）
藝大フィル モーニング・コンサート
11：00（東京藝大奏楽堂）⇨11 p

31日(金)
都響 定期B
19：00（サントリー）
日本フィル 夏休みコンサート
11：00/14：00（みなとみらい）

2020年3月、
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため演奏会の中止、延期が世界中で起きています。
一刻も早い収束を祈るばかりです。

INFORMATION
（年の記載のない月日はすべて2019年）

指揮者の情報

NHK交響楽団、首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィさんとの契約を延長

ＮＨＫ交響楽団は、パーヴォ・ヤルヴィさんとの2021年までの首席指揮者としての契約を、2022年8月まで1年延長することを発表した。ＮＨＫ交響楽団はこの2月、ヤルヴィさんの故郷エストニアのタリンを皮切りにヨーロッパツアーを行った。また2021年に迎える創立95周年をＮＨＫ交響楽団はヤルヴィさんと迎える。

札幌交響楽団、首席指揮者、マティアス・バーメルトさんとの契約を延長

札幌交響楽団は首席指揮者マティアス・バーメルトさんとの契約を3年延長し、2024年3月までとすることを発表した。

中部フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者に飯森範親さん

飯森範親さんは4月1日より中部フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者に就任した。また、1月には東京佼成ウィンドオーケストラの首席客演指揮者にも就任した。飯森さんは現在、東京交響楽団正指揮者、山形交響楽団芸術総監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者を務めている。

京都市交響楽団、新体制を発表

京都市交響楽団は2020年4月からの新体制を発表した。これまで常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーを務めてきた広上淳一さんが、改めて第13代常任指揮者兼芸術顧問に就任する。首席客演指揮者にはジョン・アクセルロッドさんを迎える。またコンサートマスター陣に特別名誉友情コンサートマスターとして豊嶋泰嗣さん、特別客演コンサートマスターに石田泰尚さん、会田莉凡さんの3名を迎える。また4月より京都市交響楽団の英語名表記が Kyoto Symphony Orchestra から“City of Kyoto Symphony Orchestra„に変わる。

事務局の移動など

群馬交響楽団

公益財団法人群馬交響楽団の事務局は下記に移転となった。（2019/9/20より）
【移転先】〒370-0841 高崎市栄町9-1高崎芸術劇場3階 ＊電話番号などの変更はなし。

山形交響楽団

公益社団法人山形交響楽協会の事務局は下記に移転となった。（2019/12/11より）
【移転先】〒990-0828 山形市双葉町1-2-38やまぎん県民ホール内 電話 023-616-6606
fax 023-616-6608チケットサービス 023-616-6607

日本センチュリー交響楽団

公益財団法人日本センチュリー交響楽団の事務局は下記に移転となった。（2020/2/18より）
【移転先】〒561-0885 豊中市岡町1-1きたしん豊中ビル6階 電話 06-6848-3333 fax 06-6848-3345
チケットサービス 06-6848-3311

訃 報

指揮者のネルロ・サンティさん

イタリアの著名なオペラ指揮者として知られるネルロ・サンティさんが2月6日スイスのチューリッヒで亡くなった。享年88。サンティさんはイタリア

北部アドリアの出身。チューリッヒ歌劇場を中心に、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、コベント・ガーデン王立歌劇場、ウィーン歌劇場など世界を代表する劇場で活躍した。日本へはＮＨＫ交響楽団、読売日本交響楽団などで度々指揮をした。また、2005年にはパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）の首席指揮者も務めた。

指揮者の荒谷俊治さん

指揮者の荒谷俊治さんが1月1日に心不全のため亡くなった。享年89。荒谷さんは九州大学在学中に活動を開始、1969年には文化庁派遣在外芸術研修員としてアメリカに留学。ジョージ・セルのもとで学ぶ。1970年にはクリーヴランド管弦楽団を指揮した。東京フィル、名古屋フィル等の指揮者を経て日本指揮者協会の会長も務めた。またアマチュア・オーケストラの育成などにも力を注いだ。

声楽家の重松みかさん

声楽家の重松みかさんが10月23日に亡くなった。享年61。

新日本フィルハーモニー交響楽団の元フルート奏者の和田健二さん

新日本フィルハーモニー交響楽団の元フルート奏者の和田健二さんが、12月12日に亡くなった。享年70。

大阪フィルハーモニー交響楽団の元トロンボーン奏者の磯貝富治男さん

大阪フィルハーモニー交響楽団の元トロンボーン奏者の磯貝富治男さんが、1月10日に亡くなった。享年67。

NHK交響楽団の元ファゴット奏者の山畑 馨さん

ＮＨＫ交響楽団の元ファゴット奏者の山畑 馨さんが、1月15日に急性肺炎のため亡くなった。享年97。

大阪フィルハーモニー協会前理事長の小林庄一郎さん

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会の前理事長の小林庄一郎さんが2月4日に亡くなった。享年97。小林さんは関西電力株式会社の元取締役会長、同社長を務められた。

平成8年から27年まで、20年間にわたって楽団の経営を支えてきた。

セントラル愛知交響楽団理事長の安藤重良さん

セントラル交響楽団の理事長の安藤重良さんが12月24日に亡くなった。享年76。

安藤さんは日本を代表する美術工芸品である七宝焼きを扱う株式会社安藤七宝店の代表取締役会長。

ローム株式会社創業者の佐藤研一郎さん

日本を代表する電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者 取締役の佐藤研一郎さんが1月15日、閉塞性黄疸のため亡くなった。享年88。佐藤さんは1991年公益財団法人ロームミュージックファンデーションを設立し、理事長を務めていた。同財団は音楽を通して豊かな文化を作ることを目標にしており、これまで多くの演奏家の在外研修、音楽セミナー、国際音楽学生フェスティバル、小澤征爾音楽塾、音楽活動への助成、被災地支援コンサートなどを通じてクラシック音楽の世界に貢献している。これまでの事業費の合計は約140億円に及んでいる。

［賛助会員］
●法人会員
オリックスグループ
NPO 音楽は平和を運ぶ
キッコーマン株式会社
コクヨ株式会社
株式会社 資生堂
公益財団法人日本製鉄文化財団
トヨタ自動車株式会社
株式会社日本旅行
一般財団法人ヤマハ音楽振興会
ライオン株式会社
公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション
（五十音順）

＊連盟の活動をご理解いただき支援してくださる法人あるいは個人の方へ賛助会員へのご入会をお願いしています。

［加盟37 団体］
〈正会員〉
札幌交響楽団
仙台フィルハーモニー管弦楽団
山形交響楽団
群馬交響楽団
ＮＨＫ交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
東京ニューシティ管弦楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
読売日本交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢
セントラル愛知交響楽団
名古屋フィルハーモニー交響楽団
京都市交響楽団
大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
兵庫芸術文化センター管弦楽団
広島交響楽団
九州交響楽団
〈準会員〉
千葉交響楽団
藝大フィルハーモニア管弦楽団
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
静岡交響楽団
中部フィルハーモニー交響楽団
京都フィルハーモニー室内合奏団
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
テレマン室内オーケストラ
奈良フィルハーモニー管弦楽団
岡山フィルハーモニック管弦楽団
瀬戸フィルハーモニー交響楽団
長崎 OMURA 室内合奏団

日本オーケストラ連盟ニュース第104号　2020年3月25日発行
発行所●公益社団法人 日本オーケストラ連盟
編集・発行人　桑原 浩　〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル棟7F
Tel:03-5610-7275 http://www.orchestra.or.jp/
印刷●錦明印刷株式会社　制作●音楽編集者倶楽部「カノン」／林僚子